

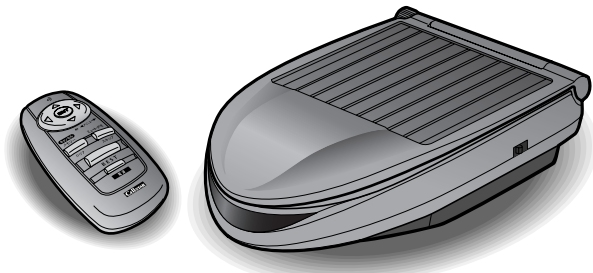
Produced to assure your safety.

CELLSTAR ASSURA

リモコン付き サンバイザー対応GPSソーラーレーダー探知機

AR-10V

取扱説明書[Ⓐ]



Eos
Effective

イオス : Effective Operation System

心地よく、効率の良いドライビングサポートを実現させる新システムを採用。GPS情報と登録データを連動させ、常に走行状況を把握することで、自動的に走行速度に合わせた警告内容を判断します。走行状況によりボイスアシストの内容が変化するなど、快適な使用感をご提供いたします。

P-Can.
不要警告音
キャンセル

ピー・キャン

常に適切なドライビングサポートをおこなえるよう、自動ドアなどによるレーダー警告音や取締機の撤去などで必要なくなったGPS警告音を、ワンタッチ操作で簡単にキャンセルさせることができます。

BEST

ベストセレクト機能

新発想の「BESTボタン」をワンタッチ操作するだけで、機能設定が完了。面倒な設定操作を必要とせず、あらかじめ設定されている「オールモード（全ての警告動作を実行）」「標準モード（お薦めできる標準的な設定）」と、自由にカスタマイズ可能な「マニュアルモード1（初期設定が高速道向け）」「マニュアルモード2（初期設定が一般道向け）」の4つを状況に合わせて切り替えることで、より便利で簡単にご使用いただけます。

ご購入の客様へ

この度は、弊社製品をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、本書をよくお読みに本製品を正しくお使いください。
尚、お読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

初めてご使用になる場合には、付属のDCコードを使用して、累計で約8時間以上充電をしながらご使用ください。




本製品は、安全運転を促進する目的で製造販売しております。速度の出し過ぎに注意して走行してください。

また、緊急車両が接近した場合には速やかに道をお譲りください。

安全上の注意


お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明していきます。


■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 危険	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が切迫して想定される」内容です。
 警告	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害*の発生の可能性が想定される」内容です。 *物的損害とは、車両・家屋・家財等に関わる拡大損害を示します。


■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。


 この表示は、必ず実行していただく「**強制**」の内容です。具体的な強制内容は、近くに文章で示します。


 この表示は、してはいけない「**禁止**」の内容です。具体的な禁止内容は、近くに文章で示します。


 この表示は、気をつけていただきたい「**注意**」の内容です。具体的な注意内容は、近くに文章で示します。


危険


 本製品はDC12V専用です。他の電圧での使用は故障の原因になりますので、絶対におやめください。

 走行中に本製品の操作をしないでください。
※交通事故の原因となります。


 万一、故障した場合は直ちに使用を中止してください。
※そのまま使用しますと火災や感電の原因となります。


 医療用電気機器の近くでは使用しないでください。
※ペースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与える恐れがあります。


 煙が出ている、変な臭いがするなど異常な状態のままでは使用しないでください。
※発火して火災の原因となります。


 水につけたり、水をかけたり、又、ぬれた手では絶対に操作しないでください。
※火災や感電、故障の原因となります。


警告


 運転や視界の妨げにならない場所、又は自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付けてください。
※誤った取り付けは交通事故の原因となります。


 エアバッグの近くに取り付けたり配線したりしないでください。

 ※万一エアバッグが作動した時、本体が飛ばされ事故やケガの原因となります。また、配線が妨げとなりエアバッグが正常に動作しないことがあります。


 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工したりしないでください。電源コードが傷ついた場合には直ちに使用を中止してください。


 ※感電やショートによる発火の原因となります。


 本製品は精密機器です。分解や改造は絶対に行わないでください。
※発熱、火災、ケガの原因となります。


 ぬれた手でシガーライタープラグの抜き差しをしないでください。また、ぬれた状態のプラグを差し込むなどの行為もしないでください。
※火災や感電、故障の原因となります。


注意


 穴や隙間にピンや針金を入れないでください。
※感電や故障の原因となります。

 本製品は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。

 夏の炎天下、真冬の駐車の際はできるだけ本製品を取り外してください。
※性能の劣化、本体の変形をまねく原因となります。

 お取り付けになる車両のウィンドウが熱反射ガラスの場合、電波の透過率が低いためにGPS信号や各種無線、レーダー波などの受信がしにくい場合やできない場合があります。熱反射ガラスの使用の有無は車両のディーラーやメーカーへお問い合わせください。







 一部のカーナビゲーションと同時に使用すると、本製品が鳴り続ける場合があります。

 本製品を取り付けている、いないの状態にかかわらず、速度違反や駐車違反などに関して、弊社では一切の責任を負いかねます。

安全上の注意	2	350.1MHz	35
はじめに		警察デジタル無線	35
本製品の特長	4	署活系無線	35
同梱品の確認	7	ヘリテレ無線	35
リモコン用電池の装着方法	8	レッカー無線	36
各部の名称と機能	9	取締特小無線	36
使用上の注意	11	警察電話	36
取り付け上の注意	13	バリケードアラーム	36
本体の取り付け方法	14	レーダー波受信動作	37
リモコンの使用方法	17	レーダー警告	37
内蔵バッテリーについて	18	ステルスアラーム	37
充電方法	19	対向車線レーダー警告オートキャンセル機能	37
電源を入れる	21	マニュアルモードでの各種設定	
電源を切る	21	マニュアルモードの設定一覧	38
音量の調整	21	マニュアルモードでの設定変更方法	40
GPS測位について	22	便利機能	
BESTセレクト機能	23	ユーザーメモリー機能	41
ハイブリッド型L.S.C.機能の動作	25	GPS警告ポイント消去機能	42
レーダー波受信感度オートの動作	25	レーダーキャンセルメモリー機能	43
パワーオート切り替え機能	25	通過速度履歴確認機能	44
レシーバーオートミュート機能	26	デモンストレーション機能	45
オートディマー機能	26	1キロ圏内サーチ機能	45
オートトーンダウン機能	26	本製品の全リセット	46
タイムディマー機能	26	故障かな?と思ったら	47
ミュート機能	26	予備知識	
スキップ機能	27	GPSとは…?	50
ワンスキップ	27	本製品の動作	50
タイムスキップ	27	速度取締りに関する予備知識	52
スキップメモリー	27	無線に関する予備知識	53
警告動作		アフターサービスについて	
GPS警告動作	29	保証書について	54
速度取締機	29	修理を依頼される時	54
トンネル出口速度取締機	31	個人情報に関して	54
道路識別機能	31	データ更新について	54
取締りポイント	32	リモコンの紛失について	54
高速道路名称ボイス	32	新設速度取締機、Nシステム、	
事故多発エリア	32	取締りポイントの情報提供のお願い	55
警察署	32	各地域のお客様相談窓口	55
交通検問所	33	仕様・定格	56
過積載監視システム	33	オプション品	56
Nシステム	33		
急カーブ	33		
駐車禁止エリア	33		
道の駅/ハイウェイオアシス	33		
制限速度切り替わりポイント	34		
ユーザーメモリー機能	34		
無線受信動作	34		
カーロケーター	34		

本製品の特長

GPS警告

-  ■ 制限速度切り替わりポイント<登録件数約990箇所> [参照](#) <34,38~40,50ページ>
制限速度の切り替わりをお知らせします。
-  ■ 取締りポイント<登録件数約2140箇所> [参照](#) <32,38~40,50ページ>
検問や、頻繁に取締りがおこなわれているエリア、また取締車両の目撃多発地点を、走行速度に応じて手約1キロ手前でお知らせします。
また、走行速度が一定の速度より速い場合には2回目のボイスアシストをおこない注意を促します。
- 事故多発エリア<登録件数約1750箇所> [参照](#) <32,38~40,50ページ>
- 警察署<登録件数約1520箇所> [参照](#) <32,38~40,51ページ>
- オービス制限速度<登録件数約680箇所> [参照](#) <30,38~40ページ>
速度取締機設置路線の制限速度を登録しています。
- 速度取締機<登録件数約680箇所> [参照](#) <52ページ>
NHシステム、LHシステム、ループコイル、新Hシステム、オービスの速度取締機設置情報を登録。
 - 4ステップGPS警告 [参照](#) <29ページ>
速度取締機の約2キロ手前、約1キロ手前、約500m手前、約200m手前での4ステップGPS警告をおこないます。
一般道は約1キロ手前から3ステップGPS警告をおこないます。
 - 速度取締機識別ボイス [参照](#) <30ページ>
NHシステム、LHシステム、ループコイル、新Hシステム、オービスの速度取締機を識別し、ボイスとランプでお知らせします。
 - 可変式速度取締機識別 [参照](#) <31ページ>
-  ○ オービス制限速度ボイス [参照](#) <30,38~40ページ>
速度取締機の約1キロ手前で、設置道路の制限速度をボイスでお知らせします
-  ○ カメラ位置ボイス [参照](#) <31ページ>
速度取締機の約200m手前でカメラ位置を識別し、ボイスでお知らせします。
-  ○ 通過速度ボイス [参照](#) <30,38~40ページ>
カメラ位置ボイスの直後に、車の走行速度をボイスでお知らせします。
-  ○ トンネル出口速度取締機対応 [参照](#) <31ページ>
トンネル出口付近に設置されている速度取締機に対して、トンネルの手前でお知らせします。
- Nシステム [参照](#) <33,38~40,51ページ>
- 新型取締機 [参照](#) <30,38~40,51ページ>
- 過積載監視システム [参照](#) <33,38~40,51ページ>
- 交通検問所 [参照](#) <33,38~40,51ページ>
- 急カーブ [参照](#) <33,38~40,51ページ>
- 駐車禁止エリア [参照](#) <33,38~40,51ページ>
- 道の駅 [参照](#) <33,38~40,51ページ>
- ハイウェイオアシス [参照](#) <33,38~40,51ページ>

本製品の特長 (つづき)

- **高速道路名称ボイス** 参照 <32ページ>
GPS警告の対象が高速道路上の場合、「東名高速」「名神高速」などと全国各地の高速道路の名称をボイスでお知らせします。
- **道路識別機能** 参照 <31ページ>
高速道/一般道の道路種別を識別し、お知らせします。
- **GPSポイントロード選択機能** 参照 <31, 38~40ページ>
GPS警告の対象毎に、それぞれ「Hi(高速道路)/Ci(一般道路)/All(全て)」の3種類から選択することができます。

無線受信機能

- **ヘリテレ無線受信機能** 参照 <35, 38~40, 53ページ>
- **警察デジタル無線受信機能** 参照 <35, 38~40, 53ページ>
- **カーロケーター受信機能** 参照 <34, 38~40, 53ページ>
 - ニアミスアラーム機能
連続してカーロケーターを受信すると、電波の強弱に応じて緊迫状況であるか、ないかを判断しお知らせします。
 - 受信感度2段階切り替え機能
- **350.1MHz受信機能** 参照 <35, 38~40, 53ページ>
- **レッカー無線受信機能** 参照 <36, 38~40, 53ページ>
- **署活系無線受信機能** 参照 <35, 38~40, 53ページ>
- **取締特小無線受信機能** 参照 <36, 38~40, 53ページ>
- **警察電話受信機能** 参照 <36, 38~40, 53ページ>
- **バリケードアラーム** 参照 <36, 53ページ>
検問等がおこなわれている可能性が高いと判断した場合に、専用のバリケードアラームでお知らせします。

レーダー波受信機能

- **自動距離測定回路内蔵** 参照 <37ページ>
レーダー波の強さに応じてランプ、ブザーが変化してお知らせします。
- **レーダー波受信感度オート切り替え機能** 参照 <25, 38~40ページ>
- **ステルスアラーム** 参照 <37ページ>
ステルス型速度取締りを識別し、専用のステルスアラームでお知らせします。

便利機能

- **対向車線レーダー警告オートキャンセル** 参照 <37ページ>
- **フラッシュモニター搭載**
GPS警告、各種無線受信時にフラッシング(速い点滅)をして注意を促します。また、GPSの測位状態の表示、各種設定時にボイスガイドと共に点灯色の変化により設定内容の確認もできます。

(次のページにつづく)

本製品の特長（つづき）

BEST

- **BESTセレクト機能** 参照 <23~24ページ>
面倒な設定操作を必要としない、一発設定ボタンを採用しました。
- **通過速度履歴確認機能** 参照 <44ページ>
最後にお知らせした通過速度を自動的に記録し、任意に確認することができます。
- **1キロ圏内サーチ機能** 参照 <45ページ>
半径約1キロ圏内にある速度取締機、ユーザーメモリーの有無を検索します。
- **ハイブリッド型L.S.C.(ロー・スピード・キャンセラー)機能** 参照 <25、38~40ページ>
設定した速度以下での走行時や停車時などの低振動時にレーダー警告音をキャンセルします。
- **ユーザーメモリー機能** 参照 <34、41ページ>

P-Can.
不要な無線音
キャンセル

- **レーダーキャンセルメモリー機能** 参照 <43~44ページ>
レーダー警告音の不要なエリアを記録し、自動的に半径約200m圏内でキャンセルします。

P-Can.
不要な無線音
キャンセル

- **GPS警告ポイント消去機能** 参照 <42ページ>
取締機の撤去などにより、警告が必要なくなったポイントを消去し、自動的にGPS警告をキャンセルします。

- **レシーバーオートミュート** 参照 <26ページ>
350.1MHzを除く無線の受信時、連続的に同じ無線を受信すると自動的にミュート(消音)します。

- **ミュート機能** 参照 <26ページ>
レーダー警告や、各種無線受信中に、一時的に警告音やボイスをミュート(消音)します。また、各種無線受信をキャンセルすることもできます。

スキップ機能

- **ワンスキップ** 参照 <27ページ>
各種無線の受信中、その受信動作を一回だけスキップ(受信拒否)することができます。
- **タイムスキップ** 参照 <27ページ>
ヘリテレ無線、警察デジタル無線、レッカー無線、署活系無線、取締特小無線、警察電話のうち特定のチャンネルを20まで、約10分間スキップ(受信拒否)します。
- **スキップメモリー** 参照 <27~28ページ>
ヘリテレ無線、警察デジタル無線、レッカー無線、署活系無線、取締特小無線、警察電話のうち特定のチャンネルを記録し、スキップ(受信拒否)します。

- **オートトーンダウン** 参照 <26ページ>
レーダー警告が始まってから30秒後に、警告音量を抑えます。

- **オートディマー機能** 参照 <26ページ>
夜間などソーラーパネルに当たる太陽光が少ないときに、自動でランプの点灯を暗くします。

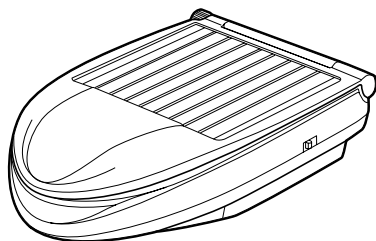
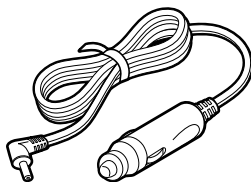
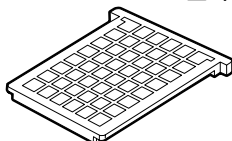
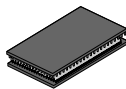
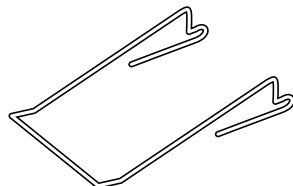
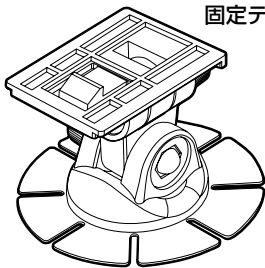
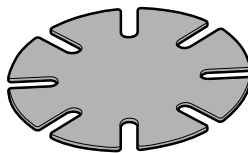
- **タイムディマー機能** 参照 <26ページ>
GPSの時刻情報により、4月~10月は18:00~05:00間、11月~3月は17:00~06:00間に、各ランプの点灯を暗くします。

- **ウェルカムボイス機能** 参照 <21ページ>
起動時に、シートベルト着用を案内します。全国交通安全運動期間中は、期間中であることを案内します。

- **パワーオート切り替え機能** 参照 <25ページ>

同梱品の確認

はじめに、同梱物の確認をおこなってください。


 本体

 DCコード

 プレート

 プレート取り付け用
固定テープ

 サンバイザークリップ

 マウントベース

 ダッシュボード
取り付け用両面テープ

 リモコン

 リモコンホルダー

 リモコンホルダー
取り付け用両面テープ

 サンバイザー保護シール

 取扱説明書（本書）

 保証書

 リモコン用電池

（リモコン使用前に装着する必要があります。）

【参照】リモコン用電池の装着方法（●8ページ）

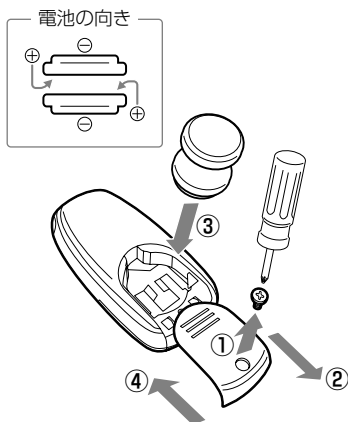
※その他注意書きが同梱している場合があります。

リモコン用電池の装着方法

本製品ではボタン電池(CR2032)を2個使用します。

初めて本製品をご使用になる場合は、リモコンに同梱の電池(2個)を装着してください。また、リモコンが作動しにくくなった場合は、市販されている新しい同型の電池を2個1組にして交換してください。

- ① 電池カバーのネジを外します。
- ② 電池カバーを後ろにずらして外します。
- ③ 電池を2個、「+」側を向かい合わせにしてリモコンに納めます。
- ④ 電池カバーをはめ直し、ネジ止めします。



警告 電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

警告 電池は充電、分解、変形、加熱、はんだ付け、火に入れるなどしないでください。

注意 電池の「+」「-」を逆に入れてください。

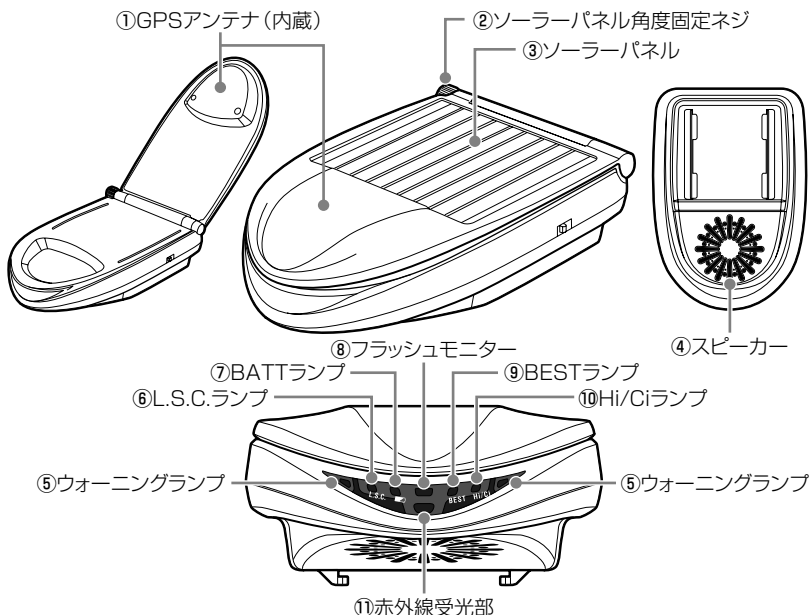
注意 新しい電池と使用した電池や古い電池を混在して使用しないでください。

注意 銘柄や種類の異なる電池を混用しないでください。

注意 長期間、機器を使用しない場合は、機器から電池を取り出して保管してください。

注意 同梱の電池は、モニター用電池です。

各部の名称と機能

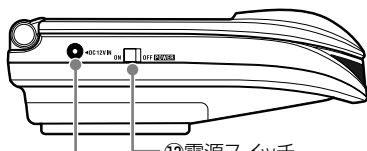


■ 本体部 ■

- ① GPS アンテナ (内蔵)
GPS 衛星からの信号を受信します。
- ② ソーラーパネル角度固定ネジ
ソーラーパネルの開閉で使用します。
- ③ ソーラーパネル
太陽光を受けて発電し、内蔵バッテリーに充電します。
- ④ スピーカー
警告音や、ボイスガイドなどの音が出ます。
- ⑤ ウォーニングランプ (青色)
レーダー警告の際、レーダー波の強さを点滅して表示します。
- ⑥ L.S.C. ランプ (緑・赤・橙色)
電源の ON/OFF 状態や、ハイブリッド型 L.S.C. 機能の動作状況を表示します。
- ⑦ BATT ランプ (緑色)
内蔵バッテリーの残量、DC コードによる充電中かどうかの表示をします。
- ⑧ フラッシュモニター
GPS の測位状態、マニュアルモードなどでの各種設定内容を表示します。
また GPS 警告、ヘリテレ無線、警察デジタル無線、カーロケーター、350.1MHz、レッカー無線、署活系無線、取締特小無線、警察電話の受信時に表示します。
- ⑨ BEST ランプ (緑色)
オールモード/標準モード/マニュアルモード1/マニュアルモード2の状態を表示します。
- ⑩ Hi/Ci ランプ (緑・赤・橙色)
警告対象の設置されている道路種を点滅して表示します。
- ⑪ 赤外線受光部
リモコンから送信される赤外線を受光します。

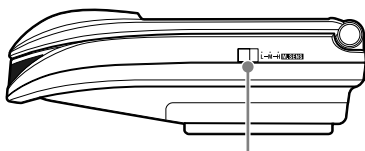
(次のページにつづく)

各部の名称と機能 (つづき)



⑫ DC 12V ソケット

⑬ 電源スイッチ



⑭ M.SENS スイッチ

■ 本体部 ■ (つづき)

⑫ DC 12V ソケット

DC コードを接続し、DC 12V を本製品に入力します。

⑬ 電源スイッチ

電源の ON/OFF をします。

⑭ M.SENS スイッチ

内蔵のムービングセンサーの感度を切り替えます。

⑮ ▲▼ ボタン

⑯ ◀▶ ボタン

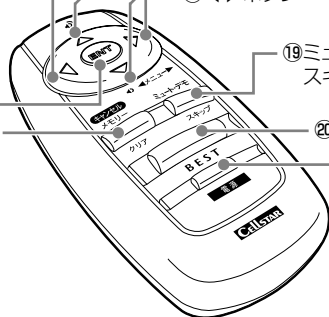
⑰ ENT ボタン

⑱ キャンセル/メモリー/クリアボタン

⑲ ミュート・デモ/スキップボタン

⑳ BEST ボタン

㉑ 電源ボタン



■ リモコン部 ■

⑮ ▲▼ ボタン

警告音や、ボイスガイドなどの音量を調整するときに使用します。
また、各種設定変更時の設定切り替えに使用します。

⑯ ◀▶ ボタン

設定メニューの選択時に使用します。

⑰ ENT ボタン

設定操作の決定や、通過速度の確認、1 キロ圏内サーチ機能、ワンスキップ機能の操作をします。

⑱ キャンセル/メモリー/クリアボタン

ユーザーメモリー機能や、レーダーキャンセルメモリー機能、GPS 警告ポイント消去機能などを設定するときを使用します。
また、各種設定の操作を中止するときにも使用します。

⑲ ミュート・デモ/スキップボタン

ミュート機能、デモンストレーション機能、スキップメモリー機能などの設定をするときに使用します。

⑳ BEST ボタン

BEST セレクト機能の切り替えや設定チェックをするときなどに使用します。

㉑ 電源ボタン

本体の電源を ON/OFF します。

使用上の注意

- 本製品は、安全運転を促進する目的で製造販売しております。くれぐれも、速度の出し過ぎには注意して走行してください。また、緊急車両が接近した際には速やかに道をお譲りください。
- 本製品は、GPS測位状態で登録・記録済みデータを基に、またはレーダー波、無線電波を受信することで警告動作をおこないます。GPS測位していない状態、登録・記録されていない地点、または各種受信ができない状態では警告動作をおこなうことができません。
- 一部の車種において付属のDCコードが、お車のシガーライターソケットの形状に合わない場合があります。
- 車内でTVの56chにチャンネルを設定していると、本製品がGPS測位をできなくなることがあります。これは故障や不良ではありません。
- 光電管を使用した有人式の速度取締りがおこなわれている場合、その取締りに対して警告することができません。あらかじめご了承ください。

内蔵バッテリーの消耗について

- コードレスで使用する場合、警告・無線受信の頻度、設定内容などによっては内蔵バッテリーの消耗が激しくなります。

熱反射ガラスについて

- 一部車種のウィンドウに採用されている熱反射ガラスは、電波の透過率が低いためGPS信号やレーダー波、各種無線の受信がしにくい場合やできない場合があります。熱反射ガラスの使用の有無は車両ディーラーやメーカーへお問い合わせください。

GPS警告について

- GPS警告ポイントが複数隣接している場合、そのいずれかに対する警告が優先されます。そのため、それ以外に対するGPS警告ができない場合があります。また、警告が頻繁におこなわれる場合があります。

事故多発エリアについて

- 警察庁、国土交通省の統計データにより集計していますが、集計の時期、またその後の道路の改良などにより実際の状況と異なる場合があります。

- 首都圏や都市部などでは事故多発エリアが集中し、警告が頻繁におこなわれる場合があります。

警察署について

- 移転、新設などがあった場合、本製品でのお知らせと実際の状況が異なります。

急カーブについて

- 本製品でお知らせする急カーブは、当社独自の調査により、登録しているものです。したがって、急カーブであると思われる場所であっても、お知らせしない場合などがあります。

駐車禁止エリアについて

- 本製品でお知らせする駐車禁止エリアは、政令指定都市を中心に当社独自の調査により駐車違反重点取締地区を想定し登録しているものです。駐車禁止の標識、その他標識の設置場所や駐車禁止の指定場所であっても、お知らせしない場合があります。

取締りポイントについて

- 取締りポイントの警告は、取締りの目撃情報に基づいて、本製品に登録されたエリアに対しての警告であって、実際に取締りがおこなわれていることに対しての警告ではありません。また警告の前後で取締りをおこなっている場合もあります。あらかじめご了承ください。

制限速度について

- 本製品でお知らせする制限速度は、天候、その他による臨時規制や時間帯で変化する速度規制には対応していません。また、普通自動車に対する制限速度をお知らせします。
- 制限速度切り替わりポイントは、インターチェンジやジャンクションなどの接続部や料金所などによる制限速度の切り替わりはお知らせしません。また、ピンポイントでお知らせするものではありません。

(次のページにつづく)

使用上の注意（つづき）

無線受信機能について

- 受信した内容を第三者に漏らしたり、その内容を窃用することは、電波法第五十九条により禁じられています。
- 受信電波がデジタル通信の場合は、音声を聞くことができません。
- 受信しても、無線内容がない場合や短い場合があります。
- 一部地域では各種無線が配備されていない、またはシステムが異なる、変更されるなどの理由により受信できない場合があります。
- 各種無線は常に使用されていません。本製品での受信は、無線が使用され、電波が出ている場合に限ります。
- 本製品は、車載の電装機器（オーディオ・ナビ・ETC等）や、電源ノイズの影響により、特定チャンネルを連続的に受信する場合があります。これは故障ではありません。
- ヘリテレ無線の受信は、ヘリコプターから無線中継所への送信電波です。
- ヘリテレ無線の無線中継所付近では、ヘリコプターの接近にかかわらず、受信する場合があります。
- カーロケーターシステムは全ての警察関係車両に搭載されていません。また、搭載されていても常時電波を発信していません。
- レッカー無線は簡易業務用無線のため、同一チャンネル内の他業種無線を連続的に、または、頻繁に受信する場合があります。
- 本製品は一部のレッカー業者に割り当てられている簡易業務用無線を受信します。そのためそれ以外のレッカー業者が使用している無線を受信することができません。
- 署活系無線はチャンネル数が多く使用頻度も高いため、連続的な受信や、頻繁に受信する場合があります。

レーダー波受信機能について

- 一部の自動ドアなど、速度取締機と同じ電波を使用している機器があります。その場合、本製品でレーダー警告をおこなうことがありますが、これは故障ではありません。
- 設置されている速度取締機の中には稼働していないものもあります。この場合、レーダー波を使用している種類であってもお知らせすることができない場合があります。
- ステルス波の受信によるステルスアラームは、その性質上距離的余裕をもってお知らせすることができません。くれぐれも速度の出しすぎにはご注意ください。
- 大型車の後方を走行する場合やカーブの急な道路を走行する場合、レーダー波を受信しにくい状態になる場合があります。

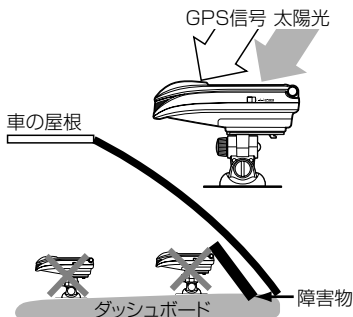
パワーオート切り替え機能について

- お車を駐車する周囲に、工事現場や幹線道路がある場合など、周辺の振動や騒音を検出し、電源が切れない場合があります。使用しない場合には「電源スイッチ」で電源を切ってください。

取り付け上の注意

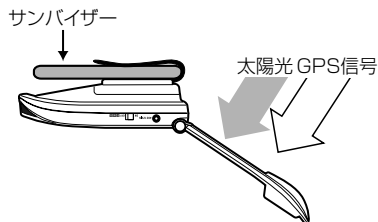
○ダッシュボード取り付け時の注意

本製品は上空からのGPS信号受信と前後方向からのレーダー波を受信してお知らせします。また、ソーラーパネルによる充電機能を備えています。そのため本体の上や前(車の進行方向)などに、金属などの障害となるものがないように本体をお取り付けください。



○サンバイザー取り付け時の注意

サンバイザーなどに取り付ける場合には必ずソーラーパネルに直接太陽光が当たるように、また、GPSアンテナ部がGPS信号を受信できるようにソーラーパネルを開いた状態で取り付けてください。



⚠ 注意 お車によっては、本体をサンバイザーに取り付けた場合、ソーラーパネルによる充電、GPS信号の受信ができない場合があります。

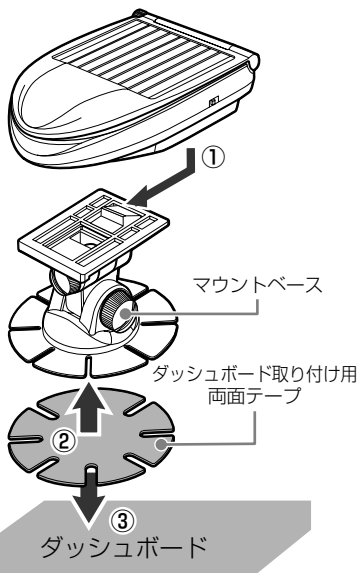
⚠ 注意 一部車種のウィンドウに採用されている熱反射ガラスは、電波の透過率が低いためGPS信号やレーダー波、各種無線の受信がしにくい場合やできない場合があります。
熱反射ガラスの使用の有無は車両のディーラーやメーカーへお問い合わせください。

⚠ 注意 運転や視界の妨げにならない場所、エアバッグの近くまたは車両の機能(ハンドル、ブレーキ)の妨げにならない場所へお取り付けください。誤った取り付けは交通事故の原因となります。

本体の取り付け方法

○ダッシュボードへの取り付け (マウントベース使用の場合)

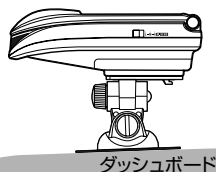
- ① マウントベースと本体を取り付けます。
- ② マウントベースにダッシュボード取り付け用両面テープを貼り付けます。
- ③ マウントベースをダッシュボードに貼り付けます。



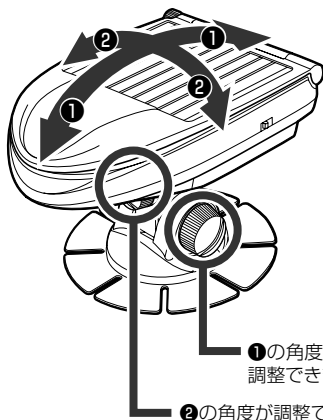
ダッシュボード取り付け図

フロントガラス →

GPS信号
レーダー波



○取り付け角度の調整

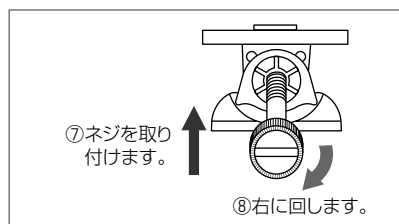
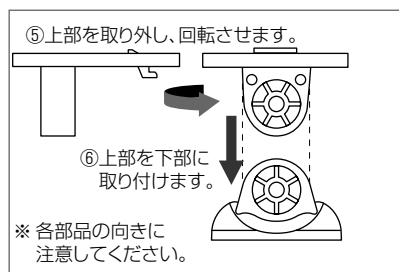
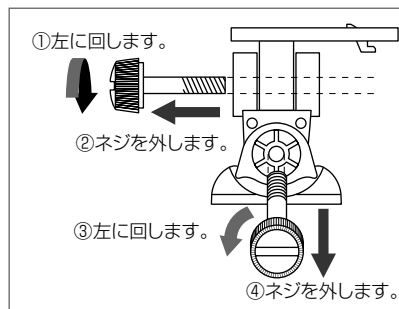


- ※ 本体を道路に対して水平になるように調整してください。
- ※ 太陽光の角度により、表示ランプが見えにくい場合があります。

本体の取り付け方法（つづき）

○マウントベースの高さを調整する場合

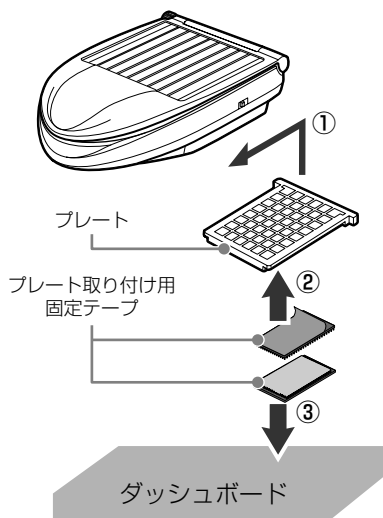
マウントベースの部品を外すことで、高さの調節ができます。



- ※ 外したマウントベース上部とネジは大切に保管してください。
- ※ 上記イラストを参照して、各部品の向きを注意してください。

○ダッシュボードへの取り付け (直置きの場合)

- ① プレートと本体を取り付けます。
- ② プレート取り付け用固定テープをプレート部に貼り付けます。
- ③ もう一方の固定テープをダッシュボードに貼り付けます。

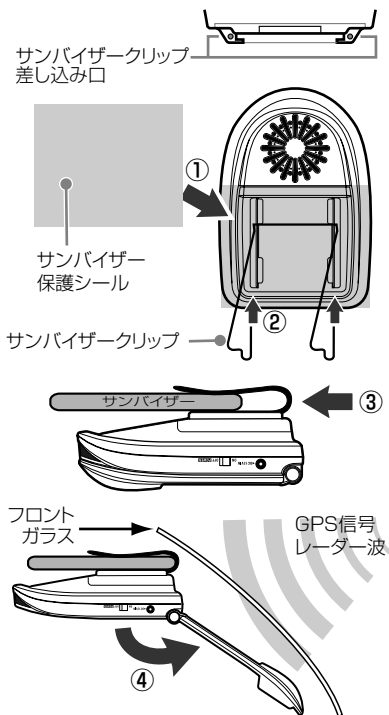


(次のページにつづく)

本体の取り付け方法（つづき）

○サンバイザーへの取り付け

- ① 本体の裏側にサンバイザー保護シールを貼り付けます。
- ② サンバイザークリップを差し込み口に差し込みます。
- ③ サンバイザークリップをサンバイザーに挟み込んで取り付けます。
- ④ ソーラーパネルを開いて角度を調整します。

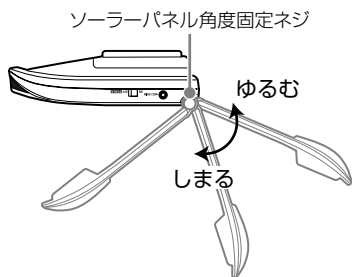


注意

サンバイザー表面の材質によっては、サンバイザーの表面に本体の取り付け跡や色移り等を招く場合があります。サンバイザーへ取り付ける場合には必ずサンバイザー保護シールを使用してください。

○ソーラーパネルの開き方

- 1 「ソーラーパネル角度固定ネジ」を十分にゆるめて、ソーラーパネルを開いてください。
 ※ ネジを締めたまま開くと、本製品の破損を招きます。十分にご注意ください。
 ※ ネジは左に回すとゆるみます。右に回すと締まります。



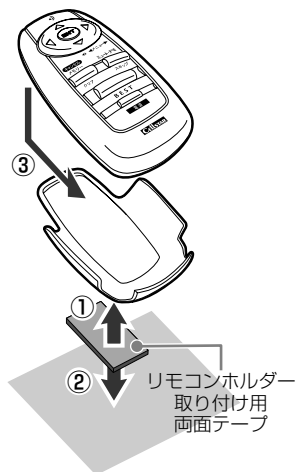
- 2 ソーラーパネルの角度が決まったら「ソーラーパネル角度固定ネジ」をしっかりと締めてください。

リモコンの使用法

○リモコンの取り付け

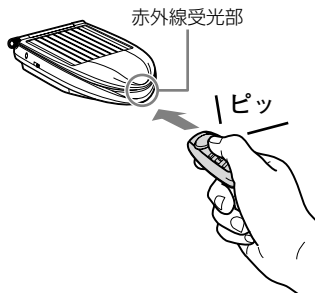
リモコンを紛失しないように、リモコンホルダーをお車に固定すると便利です。

- ① リモコンホルダーとリモコン取り付け用両面テープを貼り付けます。
- ② リモコンホルダーを取り付け箇所にはり付けます。
- ③ リモコンをリモコンホルダーに納めます。



○リモコンの操作方法

リモコンを下図のように持ち、本体の赤外線受光部に向けてボタンを押してください。



⚠ 注意 リモコンを紛失いたしますと、本製品の操作をおこなうことができません。
紛失しないよう、十分ご注意ください。

⚠ 注意 リモコンの赤外線送信部に日光が入り込むと、操作範囲が狭くなる場合があります。

内蔵バッテリーについて

本製品は、DC12V入力または内蔵バッテリーを電源として動作いたしますが、特に内蔵バッテリー（コードレス）での使用の際は、いくつかの注意点が 있습니다。以下の注意点をよくご理解の上、ご使用ください。

○使用上の注意点



注意 無線受信の頻度、動作設定内容などによっては、内蔵バッテリーの消耗が激しくなります。これは本製品の製品不良や故障ではありません。あらかじめご了承ください。



本製品は内蔵バッテリー満充電で、連続最大約100時間のコードレス使用を実現していますが、これは最も少ない消費電流で動作している場合に限られます。実際の使用状況により、約100時間使用できない場合があります。あらかじめご了承ください。



初めてお使いになる場合には、必ずDCコードを接続し充電をしながらご使用ください。充電時間の目安は累積で約8時間です。
使用例：1時間充電×8回



本製品は、さまざまな省電力対策を施しておりますが、GPS測位時に多量の電気を消費します。内蔵バッテリーの電圧がある一定値以下になると、内蔵バッテリー保護のため、GPS機能が強制的に停止しますので、ご注意ください。



ソーラーパネルでの充電は、あくまで補助的な充電です。本製品の動作頻度が高い地域または降雪地域などで、冬期にソーラーパネルでの充電ができなくなるなど、早く内蔵バッテリーが消耗する場合があります。ご注意ください。



ソーラーパネルの発電能力は、天候、取り付け場所によって大きく左右されます。夜間、雨天曇り降雪時などは、発電されませんので、DCコードを接続して使用してください。

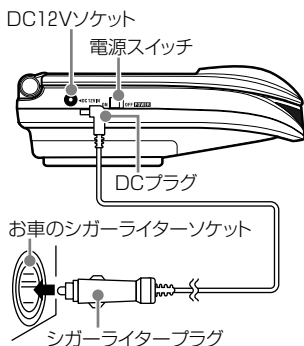
- ※ 本製品を長期間使用せずに放置すると、内蔵バッテリーが空になってしまう場合があります。その場合、GPS測位の各種データは消去され、次の使用時、GPS測位に時間がかかる場合がありますので、ご注意ください。
- ※ 長期間ご使用にならない場合、必ず「電源スイッチ」を「OFF」にしてください。
- ※ 内蔵バッテリーには寿命があります。充電が十分にできなくなってきたら新しいものと交換してください。（使用状況にもよりますが目安は約3年です。）また、内蔵バッテリーの交換については、お買い上げの販売店または、最寄のお客様相談窓口、カスタマーサービスにご相談ください。
- ※ フロントガラスに着色してある、または特殊加工してある車種の場合、ソーラー充電効率が低下して内蔵バッテリーの消耗が早くなります。
- ※ 内蔵バッテリーの消耗が激しいときは、DCコードでのご使用をおすすめします。
- ※ DCコードのシガーライタープラグ内部のヒューズが切れた場合は新しいヒューズ(1A)に交換してください。
- ※ 一部の車種においては、DCコードのシガーライタープラグ形状が合わない場合があります。

充電方法

○DCコードでの充電方法

初めてお使いになる場合や、バッテリーの充電が必要な状態になった場合は、必ずこのDCコードでの充電をおこなってください。

DCコードのシガーライタープラグをお車のシガーライターソケットに接続してください。



※ DCコードでの充電時間の目安は累積で約8時間です。

※ DCコードでの充電は、「電源スイッチ」が「OFF」の場合でも充電できます。ただし、お車のエンジンがかかっている場合に限りません。(一部車種除く)

充電を十分にした後は、DCコードを抜いてコードレスでもご使用いただけます。

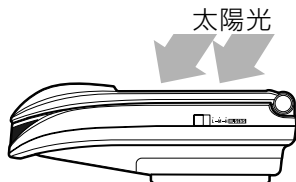
⚠ 注意 DCコードをお車のダッシュボードなどに固定した場合、ダッシュボードなどの材質や使用環境により、DCコードの被覆がダッシュボードなどに色移りする場合があります。十分にご注意ください。

別売オプション「RO-100」

別売のACアダプター「RO-100」を使用すると、家庭用電源コンセントを使用して、充電をおこなうことができます。

○ソーラーパネルでの充電方法(補充電)

ソーラーパネルに直接太陽光が当るように取り付け位置を調整してください。



ソーラーパネルでの充電は、あくまでも補助的な充電です。内蔵バッテリーの充電が必要な場合には、必ず付属のDCコードを使用して充電をおこなってください。

⚠ 注意 夜間、雨天曇り降雪時などの日は太陽光が弱いため、ソーラーパネルでの充電はおこなわれません。特に、冬季の降雪地域や悪天候が続く場合は、付属のDCコードを使用してください。

※ ソーラーパネルでの充電は、「電源スイッチ」が「OFF」の場合でもおこなえます。

※ 満充電後は、全く充電されない状態でも最大約100時間連続使用(最小消費電力動作時)ができますが、使用条件や環境などで使用時間が短くなりますのでご注意ください。

(次のページにつづく)

充電方法 (つづき)



○内蔵バッテリーの残量確認方法

電源が入ると「BATTランプ」で、内蔵バッテリーの残量をお知らせします。

また、待機状態では、下表の表示をおこないます。

内蔵バッテリーの残量	「BATTランプ」
満充電～(使用可能状態)	□ 消灯
要充電(GPS機能停止)※1	◐ 点滅
要充電(全機能強制停止)※2	◑ 速い点滅
DC12V入力中(使用可能状態)	◒ 点灯

※1:「GPSを解除しました。充電をしてください。」とボイスで1回お知らせします。

※2:「充電してください。危険です。」とボイスで1回お知らせします。さらにバッテリーの残量がなくなると、全機能を強制的に停止します。

※1、※2の状態よりDC12Vを入力すると、「トピンポン、GPSをサーチします。」とボイスでお知らせし、GPS測位をはじめます。内蔵バッテリーの残量が低下した場合は付属のDCコードを使用し、充電しながらご使用ください。



注意

「BATTランプ」が速い点滅になっても、各種設定や記録は保護されています。本製品を長期間使用せずに放置すると、内蔵バッテリーが空になってしまう場合があります。

その場合、各種設定や記録は消去され、工場出荷時状態に戻る場合があります。



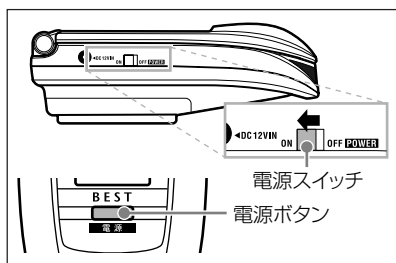
GPS機能が停止している場合

GPS機能が停止していると、レーダー波を使用している取締りのみ警告します。

NHシステム、LHシステム、ループコイルなどに対しては警告できませんので、ご注意ください。

また、レーダーキャンセルメモリー機能なども動作しません。

電源を入れる



初めてご使用になる時は、付属のDCコードを使用して累積で約8時間以上充電しながらご使用ください。

【参照 充電方法(●19ページ)】

【参照 ○内蔵バッテリーの残量確認方法(●20ページ)】

- 1 本体の「電源スイッチ」を「ON」にします。またはリモコンの「電源ボタン」を約3秒間押し続けます。電源が入るとブザー音とウェルカムボイスが流れます。

※ リモコンによる電源ON操作はリモコンにより電源OFFした後、有効となります。
(断続的に振動がない場合は、約2分間のみ有効です。)

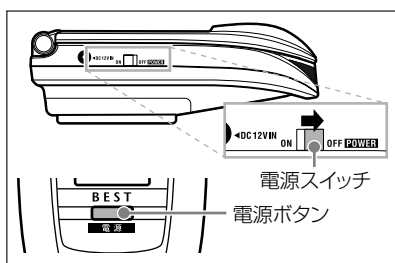
○ウェルカムボイスとは

起動時に、シートベルト着用を音声で案内します。全国交通安全運動週間中は、期間内であることを案内します。

⚠ お買い求め頂いて、初めてお使いになる場合

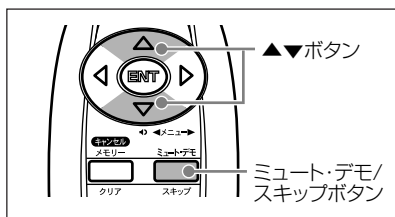
GPS測位が確定するまでに時間がかかる場合があります(約15分程度)、これは製品不良や故障などではありません。あらかじめご了承ください。
GPS測位に20分以上かかる場合は電源を入れ直してください。
GPS測位が確定すると「♪ピンポン、GPSを測位しました。」とお知らせします。

電源を切る



- 1 本体の「電源スイッチ」を「OFF」にします。またはリモコンの「電源ボタン」を約3秒間押し続けます。

音量の調整

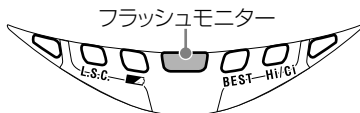


- 1 「ミュート・デモ/スキップボタン」を押してデモンストレーションをおこないます。
【参照 デモンストレーション機能(●45ページ)】
- 2 音が出ている間に「▲ボタン」または「▼ボタン」を押して音量を調整します。
- 3 再度「ミュート・デモ/スキップボタン」を押すと、デモンストレーションを中止します。

GPS 測位について

GPSを利用した機能を使用するために、GPSの測位確定が必要となります。

【参照 GPSとは…? (●50ページ)】



本製品の電源が入ると、自動的にGPS測位が始まり、GPS測位が確定するまで「フラッシュモニター」が点滅します。

GPS測位が確定すると「トピンボン、GPSを測位しました。」とお知らせします。

○GPS測位状態の確認

「フラッシュモニター」で測位状態が確認できます。

測位状態	「フラッシュモニター」
GPSサーチ中、測位不可時	青→赤→緑→…と繰り返し点滅
測位中	消灯



お買い求め頂いて、初めてお使いになる場合

- GPS測位が確定するまでに時間がかかる場合があります(約15分程度)これは製品不良や故障などではありません。あらかじめご了承ください。
- GPS測位に20分以上かかる場合は電源を入れ直してください。
- トンネル内、高架下、ビルの谷間、森林の中や高圧電線、高出力無線の近くなどではGPS測位しにくくなりますので、ご注意ください。
- GPS機能を使用するには、GPS測位中に限られます。
- 車内でTVの56chにチャンネルを設定していると、本製品のGPS測位ができなくなる場合があります。これは製品不良や故障ではありません。あらかじめご了承ください。

○GPSを利用した主な機能

- GPS警告
 - 取締りポイント
 - 事故多発エリア
 - 警察署
 - 速度取締機(4ステップGPS警告)
- Nシステム
 - 過積載監視システム
 - 交通検問所
- 急カーブ
 - 駐車禁止エリア
- 道の駅
 - 制限速度切り替わりポイント
- オービス制限速度ボイス
 - 通過速度ボイス
- 対向車線レーダー警告オートキャンセル機能
- ハイブリッド型L.S.C.機能
- レーダー波受信感度オート切り替え機能
- ユーザーメモリー機能
- レーダーキャンセルメモリー機能
- GPS警告ポイント消去
- タイムディママー機能
- 1キロ圏内サーチ機能
- 通過速度履歴確認機能

【参照 本製品の特長 (●4～6ページ)】

BEST セレクト機能

簡単なワンタッチ操作だけで、本製品をご使用頂けます。

簡単なワンタッチ操作だけで、各機能の設定を個々におこなう必要がない「オールモード」「標準モード」と、自由に設定変更ができる「マニュアルモード1」「マニュアルモード2」の4つを切り替えることができます。

オールモード	標準モード(工場出荷時)	マニュアルモード1	マニュアルモード2
全ての機能がONになっています。	ベストセレクトされた機能がONになっています。	(初期設定が高速道向けに設定されています。) お好みに合わせて各種機能を自由にカスタマイズ設定することができます。	(初期設定が一般道向けに設定されています。)

各モードの設定内容(マニュアルモードは初期設定の内容)

【参照 マニュアルモードでの各種設定(●38~40ページ)】

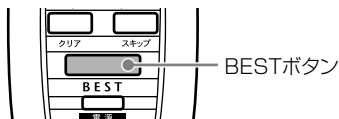
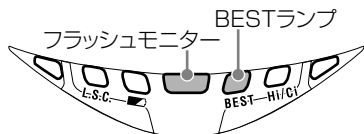
	オールモード	標準モード	マニュアルモード1	マニュアルモード2
取締機	オール	オール	ハイウェイ	シティ
Nシステム	オール	オール	ハイウェイ	シティ
取締りポイント	オール	オール	ハイウェイ	シティ
制限速度切り替わりポイント	オール	標準	標準	標準
オービス制限速度ボイス	ON	ON	ON	ON
通過速度ボイス	ON	ON	ON	ON
事故多発エリア	オール	OFF	OFF	OFF
警察署	オール	OFF	OFF	OFF
交通検問所	オール	オール	ハイウェイ	シティ
過積載監視システム	オール	オール	ハイウェイ	シティ
急カーブ	オール	OFF	OFF	OFF
駐車禁止エリア	ON	OFF	OFF	OFF
道の駅/ハイウェイオアシス	オール	OFF	OFF	OFF
レーダー感度	オート	オート	オート	オート
L.S.C.	30km/h	30km/h	50km/h	30km/h
カーロケーター	High	High	High	High
350.1MHz	ON	ON	ON	ON
警察デジタル無線	ON	ON	ON	ON
署活系無線	ON	OFF	OFF	OFF
ヘリテレ無線	ON	OFF	OFF	OFF
レッカー無線	ON	OFF	OFF	OFF
取締特小無線	ON	ON	ON	ON
警察電話	ON	OFF	OFF	OFF

※ 本製品の電源がOFFになっても、各種設定は保存されています。また、マニュアルモードの設定内容も記憶されています。

※ 署活系無線、警察電話、レッカー無線は、設定が「ON」でDCコードからDC12Vが入力されているときのみ受信することができます。

(次のページにつづく)

BESTセレクト機能 (つづき)



注意

オールモードやマニュアルモードの設定内容によっては、内蔵バッテリーの消耗が激しくなる場合があります。これは本製品の製品不良や故障ではありません。

○設定チェック機能

1 「BESTボタン」を約1秒間押し続けます。

「ベストセレクト○○」の後に各機能の設定内容をボイスガイドと「フラッシュモニター」によりお知らせします。

※ お知らせ中に、「BESTボタン」を押すと終了します。

○BESTセレクト機能の切り替え

1 「BESTボタン」を押します。
現在の設定モードをお知らせします。

2 再度「BESTボタン」を押すと設定モードが切り替わります。

押すたびに設定モードが切り替わります。

●設定操作時

【設定モード】	【ボイスガイド】	【フラッシュモニター】
オールモード	オール	白色点灯
標準モード	標準	青色点灯
マニュアルモード1	マニュアル1	緑色点灯
マニュアルモード2	マニュアル2	紫色点灯

●通常動作時

【設定モード】	【BESTランプ】
オールモード	点滅 (DC12V入力時は点灯表示)
標準モード	消灯
マニュアルモード1	点滅 (DC12V入力時は点灯表示)
マニュアルモード2	点滅 (DC12V入力時は点灯表示)

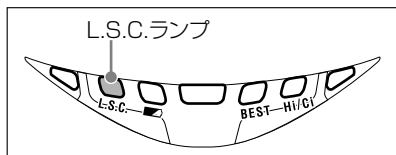
※ マニュアルモードから標準モードに切り替えても、マニュアルモードで個別に変更した設定内容は記憶されています。

【参照 マニュアルモードでの各種設定(●38～40ページ)】

ハイブリッド型L.S.C.機能の動作

GPS測位中、お車の低速走行や停止時にレーダー警告音を自動的にミュート(消音)し、GPS測位していない場合は、お車の振動が少ない状態のときに警告音をミュートします。

【参照】マニュアルモードでの各種設定(●38~40ページ)



ハイブリッド型L.S.C.の動作

L.S.C.	お車の走行状態	警告音	[L.S.C.ランプ]
ON	L.S.C.設定速度以上の走行時または高振動時	あり	緑色※
	L.S.C.設定速度以下の走行時または低振動時	なし(ミュート)	赤色※
OFF	高振動時	あり	緑色※
	低振動時	あり	橙色※

※内蔵バッテリーでの動作時は点滅表示、DC12Vでの動作時は点灯表示となります。

レーダー波受信感度オートの動作

レーダー波の受信感度を、お車の走行速度に合わせて自動で切り替えます。

【参照】マニュアルモードでの各種設定(●38~40ページ)

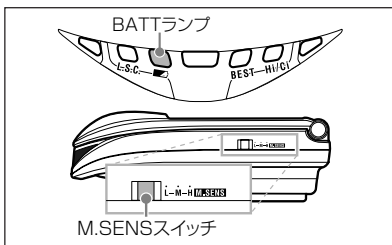
感度オートの動作

お車の走行速度	受信感度
約50km/h以上	エクストラ ↑ 高感度
約50~30km/h	ウルトラ
約30km/h未満	スーパー ↓ 低感度
GPSサーチ中、GPS機能停止	エクストラ固定

パワーオート切り替え機能

DCコード使用時、DC12Vが入力されているかどうかを「BATTランプ」で表示します。DC12Vが入力されている場合は、本製品はお車のキー操作に連動して電源の「ON/OFF」をおこないます。

※警告動作中は「BATTランプ」は消灯します。またソーラーで使用している場合は、内蔵のムービングセンサーを利用して、お車が駐車中などの振動の少ない状態が約2分以上続いたときに自動的に電源を切ります。エンジン始動や発進などで再度連続的な振動を検知すると、自動的に電源が入ります。



⚠ 注意 DCコードを抜いた場合などDC12Vが切れると、約15秒間電源は「OFF」となります。

⚠ 注意 ソーラーで使用の場合、振動で電源が入らない場合や電源が切れない場合には、ムービングセンサーの感度をお車に合わせて調整してください。

⚠ 注意 お車を駐車する周囲に、工事現場や幹線道路がある場合など、周辺の振動や騒音を検出し、電源が切れない場合があります。その場合には本体の「電源スイッチ」で電源を切ってください。

○ムービングセンサーの感度設定

ムービングセンサーの感度設定は、本体の電源をONにしてからおこなってください。

「M.SENSスイッチ」の設定の目安
 L: 振動の多い車 (低感度)
 M: 標準設定位置
 H: 振動の少ない車 (高感度)

レシーバーオートミュート機能

カーロケーター、警察デジタル無線、署活系無線、ヘリテレ無線、レッカー無線、取締特小無線、警察電話を受信後、同じ無線を連続して受信すると、自動的に警告音やボイスアシストをミュート(消音)します。

※「フラッシュモニター」による表示はおこないません。

※設定は不要です。

オートディマー機能

夜間などソーラーパネルに当たる太陽光が少ないときに、自動でランプの点灯を暗くします。

※「フラッシュモニター」は暗くなりません。

オートトーンダウン機能

レーダー警告が始まってから約30秒後、ステルスアラームが始まってから約10秒後に、警告音量が自動的に小さくなります。

※設定は不要です。

タイムディマー機能

GPS時刻情報を利用し、夜間の暗い時間帯に各ランプの光量を暗くします。

※タイムディマー機能の動作時間内は、オートディマー機能は動作しません。

※「フラッシュモニター」は暗くなりません。

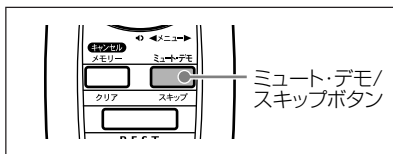
タイムディマー機能の動作時間帯

時期	時刻
4月～10月	18:00～05:00
11月～3月	17:00～06:00

ミュート機能

レーダー警告中や各種無線受信動作中に、警告音やボイスアシストをミュート(消音)します。

※各ランプによる表示はおこないません。GPS警告はミュートできません。



1 警告動作中に「ミュート・デモ/スキップボタン」を押します。

「♪ピッ」と鳴り、ミュートします。

各種無線を受信中の場合

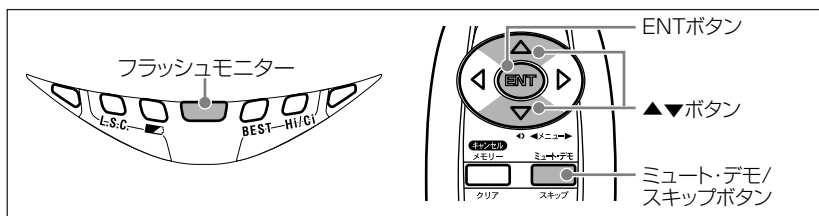
- ・ミュート中に約120秒間受信がなければ、ミュート機能は自動的に解除されます。
- ・ミュート中に再度受信した場合、約120秒間ミュート機能が延長されます。

レーダー警告中の場合

- ・ミュート中、レーダーの受信が無くなった時点で、ミュート機能は自動的に解除されます。

※ミュートの動作中に再度押すと、ミュートが解除されます。

スキップ機能



ワンスキップ

受信中の無線を一回だけスキップ(受信拒否)することができます。

- 1 受信中に「ENTボタン」を押します。
「♪ピッ」と鳴り、スキップします。

タイムスキップ

ヘリテレ無線、警察デジタル無線、レッカー無線、署活系無線、取締特小無線、警察電話のうち、特定のチャンネルを最大9チャンネルまで記録し、約10分間スキップ(受信拒否)します。

※ 記録から約10分後に自動的に復帰します。

受信中に操作をおこないます。

- 1 「ミュート・デモ/スキップボタン」を約1秒間押し続けます。
- 2 タイムスキップが選択されていることを確認します。

[ボイスガイド] タイムスキップ [フラッシュモニター] 緑色点灯

スキップメモリーが選択されている場合は「▲ボタン」を押してタイムスキップに切り替えます。

- 3 「ENTボタン」を約1秒間押し続けます。
操作結果をボイスガイドでお知らせします。

- ※ 約3秒間操作がない場合は、設定操作をキャンセルします。
- ※ 電源ON時に初期化され、記録されたタイムスキップは保持されません。

スキップメモリー

ヘリテレ無線、警察デジタル無線、レッカー無線、署活系無線、取締特小無線、警察電話のうち、特定のチャンネルを最大253チャンネル記録し、スキップ(受信拒否)し続けます。

受信中に操作をおこないます。

- 1 「ミュート・デモ/スキップボタン」を約1秒間押し続けます。
- 2 「▼ボタン」を押してスキップメモリーを選択します。

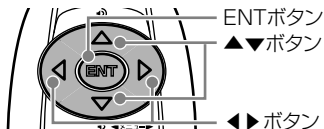
[ボイスガイド] スキップメモリー [フラッシュモニター] 赤色点灯

- 3 「ENTボタン」を約1秒間押し続けます。
操作結果をボイスガイドでお知らせします。

- ※ 約3秒間操作がない場合は、設定操作をキャンセルします。
- ※ 電源をOFFにしても、記録されたスキップメモリーは保持されます。

(次のページにつづく)

スキップ機能 (つづき)



○スキップメモリーの全消去

※ スキップメモリーの全消去はマニュアルモードでおこないます。

※ 個別での消去はできません。一括での消去となります。

1 「▶ボタン」または「◀ボタン」を押して、設定メニューから「初期化」を選びます。
【参照 マニュアルモードでの各種設定 (●38~40ページ)】

2 「▼ボタン」または「▲ボタン」を押して、「スキップメモリー」を選びます。
「フラッシュモニター」が紫色に点灯して、「スキップメモリー、スキップメモリー…」と繰り返しアナウンスされます。

[ボイスガイド] スキップメモリー、スキップメモリー… ————— [フラッシュモニター] 紫色点灯

※ 約15秒間なにも操作をおこなわないと、一括消去がキャンセルされ、通常動作に戻ります。

3 「ENTボタン」を約1秒間押し続けます。
これでスキップメモリーが全て消去されました。

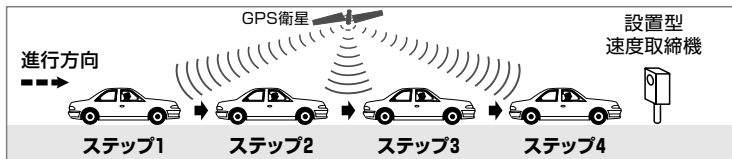
GPS 警告動作

速度取締機

4ステップGPS警告(速度取締機の約2キロ手前から最大4回)でお知らせします。

【参照 本製品の動作(●50~51ページ)】

4ステップGPS警告例(首都高速、可変式、ループコイルの場合)



ボイスアシストと各ランプの表示内容

ステップ1(約2キロ手前)

♪ピンポン、2キロ先 首都高速 可変式 ループコイルに注意してください。

距離 高速道路名称 可変式 速度取締機識別
速度取締機識別

●ソーラー入力時
[フラッシュモニター]



(約10秒間表示)

ステップ2(約1キロ手前)

♪ピンポン、1キロ先 首都高速 可変式 ループコイルに注意(してください)。

距離 高速道路名称 可変式 速度取締機識別
速度取締機識別

制限速度、60キロ以下です。

オービス制限速度ボイス

危険です。スピード落として。

(走行速度が制限速度を超えている場合)

●DC12V入力時
[フラッシュモニター]



(速度取締機を通過するまで表示)

ステップ3(約500m手前)

♪ピンポン、500m先 首都高速 可変式 ループコイルに注意してください。

距離 高速道路名称 可変式 速度取締機識別
速度取締機識別

ステップ4(約200m手前)

♪ピンポン、カメラは右側です。通過速度は50キロ以下です。

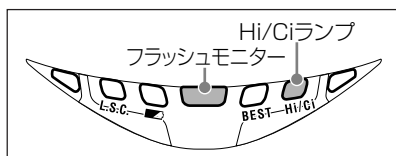
カメラ位置ボイス 通過速度ボイス

※距離のボイスアシストは、走行状況によって2キロ先/2キロ以内、1キロ先/1キロ以内、500m先/500m以内と変化します。

※一般道は、約1キロ手前からの3ステップGPS警告になります。

(次のページにつづく)

GPS 警告動作 (つづき)



○速度取締機識別ボイス

速度取締機の種類を、ボイスアシストでお知らせします。

【参照】道路識別機能(●31ページ)

ボイスアシストの内容とランプの表示

[速度取締機]	[ボイスアシスト]	[フラッシュモニター]	[Hi/Ciランプ]
ループコイル	ループコイルに		
新Hシステム	Hシステムに		
オービス	オービスに		
LHシステム	LHシステムに		
NHシステム	NHシステムに		
新型取締機	新型取締機に		

[ボイスアシスト例]

♪ピンポン、500m先 東名高速

ループコイル
 Hシステム
 オービス
 LHシステム
 NHシステム
 新型取締機

に注意してください。

○オービス制限速度ボイス(約1キロ手前)

速度取締機の設置されている道路の制限速度を、ボイスアシストします。

また制限速度よりも走行速度が速い場合は、制限速度をお知らせした後に、「危険です。スピード落として。」とボイスアシストします。

【参照】マニュアルモードでの各種設定(●38～40ページ)

[ボイスアシスト例]

制限速度 60km/h、走行速度 75km/h の場合

制限速度 60キロ以下です。

危険です。スピード落として

制限速度 60km/h、走行速度 45km/h の場合

制限速度 60キロ以下です。

⚠ 注意 お知らせする制限速度は、天候、その他による臨時規制や時間帯で変化する制限速度には対応しておりません。また、普通自動車に対する制限速度をお知らせします。

実際の速度規制、交通規制に従って走行してください。

○通過速度ボイス(カメラ位置ボイスの後)

通過速度を計測し、ボイスアシストします。

[ボイスアシスト例]

通過速度は 80キロ以下です。

通過速度は10km/h単位の切り上げでお知らせします。

【参照】通過速度履歴確認機能(●44ページ)

⚠ 注意 通過速度ボイスは4ステップGPS警告中の約200m手前で、警告を開始した時点で計測した速度をお知らせします。

⚠ 注意 GPS測位による速度計測と、お車のスピードメーターでは、計測方法が異なるため、同時点の計測であっても異なる場合があります。

GPS 警告動作 (つづき)



○可変式速度取締機識別

可変式速度取締機を識別して4ステップGPS警告でボイスアシストします。

[ボイスアシスト例]

♪ピンポン、2キロ先 首都高速 可変式
ループコイルに 注意してください。

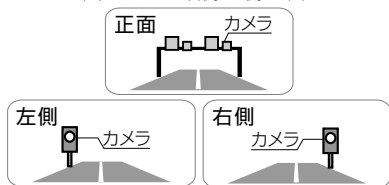
○カメラ位置ボイス(約200m手前)

4ステップGPS警告で、カメラ位置をボイスアシストします。

[ボイスアシスト例]

♪ピンポン、カメラは 右側※です

※ カメラ位置ボイスは右側、左側、正面があります。



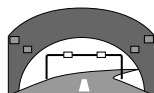
位置データがない場合

♪ピンポン、(速度取締機)に注意してください。

トンネル出口速度取締機

トンネルの出口付近に設置されている速度取締機をトンネルの手前でボイスアシストします。

【参照】○速度取締機識別ボイス(●30ページ)



[ボイスアシスト例]

♪ピンポン、上信越道トンネル出口
LHシステムに 注意してください。

[フラッシュモニター]

赤色点滅

道路識別機能

GPS警告の対象が高速道路上か一般道路上かを「Hi/Ciランプ」で識別表示し、ボイスアシストでお知らせします。

【参照】マニュアルモードでの各種設定(●38～40ページ)

警告時のボイス内容と「Hi/Ciランプ」表示

[警告対象]	[ボイスアシスト例]	[Hi/Ciランプ]
高速道路上	♪ピンポン、1キロ先 東名高速 LHシステムに 注意してください。	赤色点滅
一般道路上	♪ピンポン、1キロ先 一般道 LHシステムに 注意してください。	緑色点滅

【参照】高速道路名称ボイス(●32ページ)

(次のページにつづく)

GPS 警告動作 (つづき)



取締りポイント

取締りポイントの約1キロ手前でお知らせします。また、走行速度が一定の速度より速い場合には約500m手前で2回目のボイスアシストをおこない注意を促します。

【参照 マニュアルモードでの各種設定(●38～40ページ)】

[ボイスアシスト例]

♪ピンポン、一般道 取締りポイントに注意してください。



※ 2回目のボイスアシストは、高速道路上のポイントに対して走行速度が約80km/h以上、一般道路上のポイントに対して約40km/h以上のときのみアナウンスされます。

※ レーダー感度が「オート」に設定されている場合、取締りポイントへの警告開始から約120秒間は、レーダー波受信感度が「エクストラ」に固定されます。

【参照 マニュアルモードでの各種設定(●38～40ページ)】

高速道路名称ボイス

GPS警告対象が高速道路上の場合、その高速道路の名称をボイスアシストします。

※ 高速道路名称が登録されていない場合には、「高速道」または「有料道」とボイスアシストします。

事故多発エリア

事故多発エリアの約500m手前でお知らせします。

【参照 マニュアルモードでの各種設定(●38～40ページ)】

[ボイスアシスト例]

♪ジャン、この先 一般道 右方向に事故多発エリアです。



警察署

警察署や交通機動隊などの約500m手前でお知らせします。

【参照 マニュアルモードでの各種設定(●38～40ページ)】

[ボイスアシスト例]

♪ジャン、この先 一般道 右方向に警察署があります。



※ 走行方向正面に設置されている場合は、方向識別のボイスはありません。

※ レーダー感度が「オート」に設定されている場合、警察署への警告から約120秒間は、レーダー波受信感度が「エクストラ」に固定されます。

【参照 マニュアルモードでの各種設定(●38～40ページ)】

GPS 警告動作 (つづき)



交通検問所

交通検問所の約500m手前でお知らせします。

【参照】マニュアルモードでの各種設定(●38～40ページ)】

【ボイスアシスト例】

♪ジャン、500m先 一般道
交通検問所に 注意してください。

【フラッシュモニター】



※レーダー感度が「オート」に設定されている場合、交通検問所への警告から約120秒間は、レーダー波受信感度が「エクストラ」に固定されます。

【参照】マニュアルモードでの各種設定(●38～40ページ)】

過積載監視システム

過積載監視システムの約500m手前でお知らせします。

【参照】マニュアルモードでの各種設定(●38～40ページ)】

【ボイスアシスト例】

♪ジャン、500m先 一般道
過積載取締機に 注意してください。

【フラッシュモニター】



Nシステム

Nシステムの約500m手前でお知らせします。

【参照】マニュアルモードでの各種設定(●38～40ページ)】

【ボイスアシスト例】

♪ピンポン、500m先 一般道
Nシステムに 注意してください。

【フラッシュモニター】



急カーブ

急カーブのあるポイントの約500m手前でお知らせします。

【参照】マニュアルモードでの各種設定(●38～40ページ)】

【ボイスアシスト例】

♪ジャン、この先 首都高速
急カーブに 注意してください。

【フラッシュモニター】



カーブが連続している場合

♪ジャン、この先 中央道
急カーブが 続きます。

【フラッシュモニター】



駐車禁止エリア

駐車禁止エリア付近でお知らせします。

【参照】マニュアルモードでの各種設定(●38～40ページ)】

【ボイスアシスト】

♪ジャン、この先 駐車禁止エリアです。

【フラッシュモニター】



※駐車禁止エリアは、一般道路上に対してお知らせします。

道の駅／ハイウェイオアシス

道の駅(一般道)またはハイウェイオアシス(高速道)の約2キロ手前でお知らせします。

【参照】マニュアルモードでの各種設定(●38～40ページ)】

【警告対象】

一般道路/

【ボイスアシスト例】

♪ジャン、この先 一般道
左方向に道の駅があります。

【フラッシュモニター】



高速道路/

♪ジャン、この先 東名高速
左方向にハイウェイオアシスがあります。

【フラッシュモニター】



(次のページにつづく)

GPS 警告動作 (つづき)

無線受信動作



制限速度切り替わりポイント

制限速度が切り替わる付近でお知らせします。また、制限速度よりも走行速度が速い場合は、制限速度の切り替わりをお知らせした後に「スピードに注意してください。」とボイスアシストします。

【参照 マニュアルモードでの各種設定(●38～40ページ)】

【ボイスアシスト例】

制限速度 80km/h、走行速度 100km/h の場合

♪ビポ・ピン、東北道 制限速度 80キロ 以下です。スピードに注意してください。

制限速度 80km/h、走行速度 60km/h の場合

♪ビポ・ピン、東北道 制限速度 80キロ 以下です。

※ 標準モードに設定されている場合は、制限速度が下がるポイントでのみお知らせします。

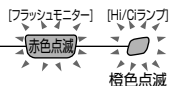
ユーザーメモリー機能

ユーザーポイントの約1キロ手前、約500m手前、約200m手前でお知らせします。

【参照 ユーザーメモリー機能(●41ページ)】

【ボイスアシスト例】

♪ピンボン、1キロ先 ユーザーポイントに注意してください。



カーロケーター

カーロケーターを受信すると、「フラッシュモニター」が青緑色に点滅し、受信電波の強弱に応じて、緊迫状況にあるか、ないかを判断してお知らせします。

【参照 マニュアルモードでの各種設定(●38～40ページ)】

【参照 レシーバーオートミュート機能(●26ページ)】

○カーロケーターのボイスアシスト

1回目の受信

【受信電波】 【ボイスアシスト】

強い電波/ ♪チャラン、500m以内カーロケ 受信しました。

【フラッシュモニター】



弱い電波/ ♪チャラン、1キロ以内カーロケ 受信しました



※ カーロケーターの感度が「Lo」に設定されている場合は、弱い電波の受信はできません。したがってこの場合は「強い電波」のみをお知らせします。

ニアミスアラーム(連続しての受信)

【ボイスアシスト】

強い電波/ ♪ファオファオ、緊急車両に注意してください。

【フラッシュモニター】



弱い電波/ ♪チャン、カーロケ 受信しました。



※ ニアミスアラームは、連続してカーロケーターを受信したときに、電波の強弱に応じて緊急状態であるかどうかをお知らせします。



注意 カーロケーターの受信時は、周囲に注意し、緊急車両が近くを走行していた場合には、走行を妨害することなく速やかに道をお譲りください。

無線受信動作 (つづき)



350.1 MHz

350.1 MHzを受信すると、受信音とボイスアシストでお知らせします。

【参照】 マニュアルモードでの各種設定(●38～40ページ)】

[ボイスアシスト]

【受信音】+♪チャラン、
350.1 受信しました。

[フラッシュモニター]



署活系無線

署活系無線を受信すると、ボイスアシストでお知らせします。

【参照】 マニュアルモードでの各種設定(●38～40ページ)】

【参照】 レシーバーオートミュート機能(●26ページ)】

[ボイスアシスト]

♪チャラン、署活系 受信しました。

[フラッシュモニター]



警察デジタル無線

警察デジタル無線を受信すると、ボイスアシストでお知らせします。

【参照】 マニュアルモードでの各種設定(●38～40ページ)】

【参照】 レシーバーオートミュート機能(●26ページ)】

[ボイスアシスト]

♪チャラン、デジタル 受信しました。

[フラッシュモニター]



注意 署活系無線を受信するにはDCコード使用(DC12V入力)が必要です。

ヘリテレ無線

ヘリテレ無線を受信すると、受信音とボイスアシストでお知らせします。

【参照】 マニュアルモードでの各種設定(●38～40ページ)】

【参照】 レシーバーオートミュート機能(●26ページ)】

[ボイスアシスト]

【受信音】+♪チャラン、
ヘリテレ 受信しました。

[フラッシュモニター]



(次のページにつづく)

無線受信動作 (つづき)



レッカー無線

レッカー無線を受信すると、受信音とボイスアシストでお知らせします。

【参照】マニュアルモードでの各種設定(●38～40ページ)】

【参照】レシーバーオートミュート機能(●26ページ)】

[ボイスアシスト]

【受信音】+♪チャラン、レッカー 受信しました。

[フラッシュモニター]



警察電話

警察電話を受信すると、ボイスアシストでお知らせします。

【参照】マニュアルモードでの各種設定(●38～40ページ)】

【参照】レシーバーオートミュート機能(●26ページ)】

[ボイスアシスト]

♪チャラン、警察電話 受信しました。

[フラッシュモニター]



注意 お車の走行速度が約50km/h以上の場合、レッカー無線は受信しません。



注意 警察電話を受信するにはDCコード使用(DC12V入力)が必要です。



注意 レッカー無線を受信するにはDCコード使用(DC12V入力)が必要です。

バリケードアラーム

各種情報により周囲で検問などがおこなわれている可能性が高いと判断した場合に、「フラッシュモニター」がいろいろな色に変化し、ボイスアシストでお知らせします。

取締特小無線

取締特小無線を受信すると、ボイスアシストでお知らせします。

【参照】マニュアルモードでの各種設定(●38～40ページ)】

【参照】レシーバーオートミュート機能(●26ページ)】

[ボイスアシスト]

♪チャラン、取締特小 受信しました。

[フラッシュモニター]



[ボイスアシスト]

♪チャラン、検問に注意してください。

[フラッシュモニター]



レーダー波受信動作

レーダー波を使用する速度取締機などへの接近をお知らせします。



レーダー警告

レーダー波の強さに応じてアラームと「ウォーニングランプ」の点滅が変化してお知らせします。(自動距離測定回路内蔵)

【参照】 使用上の注意(●11～12ページ)

【参照】 速度取締りに関する予備知識(●52ページ)

[アラーム]

♪ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッピッピッピッ

レーダー波が弱い ■■■■■■▶レーダー波が強い

※ レーダー警告がはじまってから約30秒後、警告音量が自動的に小さくなり、すべてのランプが暗くなります。

ステルスアラーム

瞬時に強いレーダー波を受信すると、それをステルス波として識別し、ボイスアシストとアラームでお知らせします。

[ボイスアシスト/アラーム]

ステルスを受信しました。

♪ピロピロピロピロピロピロ…

※ ステルスアラームがはじまってから約10秒後、警告音量が自動的に小さくなります。

⚠ ステルス波受信について

ステルス波の受信によるステルスアラームは、その性質上距離の余裕をもってお知らせできません。くれぐれも速度の出しすぎにはご注意ください。

対向車線レーダー警告オートキャンセル機能

対向車線に設置されているレーダー式速度取締機からのレーダー警告を、走行速度が取締機設置路線の制限速度より遅い場合に自動的にキャンセルします。

※ キャンセル中は、ウォーニングランプがゆっくり点滅します。

マニュアルモードの設定一覧 ※「マニュアルモード1/2」選択時のみ設定可能です。

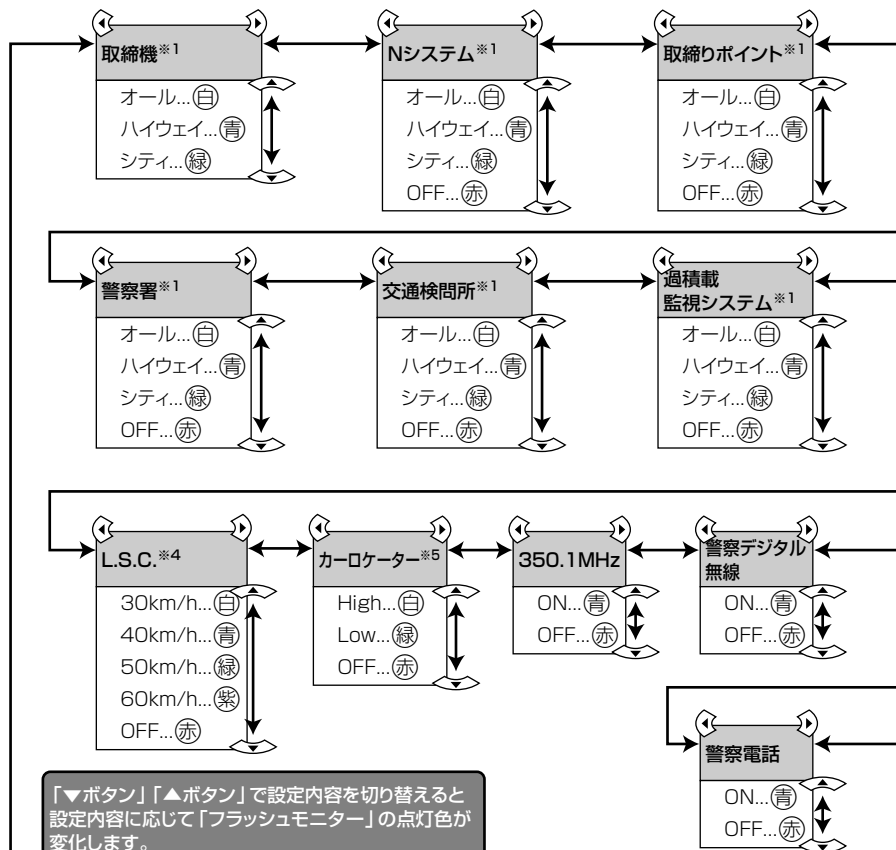
「▶ボタン」「◀ボタン」で機能を選択し、「▼ボタン」「▲ボタン」で設定内容を切り替え、「ENTボタン」を押すと設定が確定します。

「▶ボタン」「◀ボタン」を長く押し続けると、選択する機能が順次切り替わります。

設定メニューのフローチャート

【参照 BESTセレクト機能(▶23ページ)】

注意 設定内容を切り替えた後、「ENTボタン」を押して設定を確定してください。この操作をおこなわないと、設定は変更されません。



「▼ボタン」「▲ボタン」で設定内容を切り替えると設定内容に応じて「フラッシュモニター」の点灯色が変化します。

フラッシュモニターの点灯色

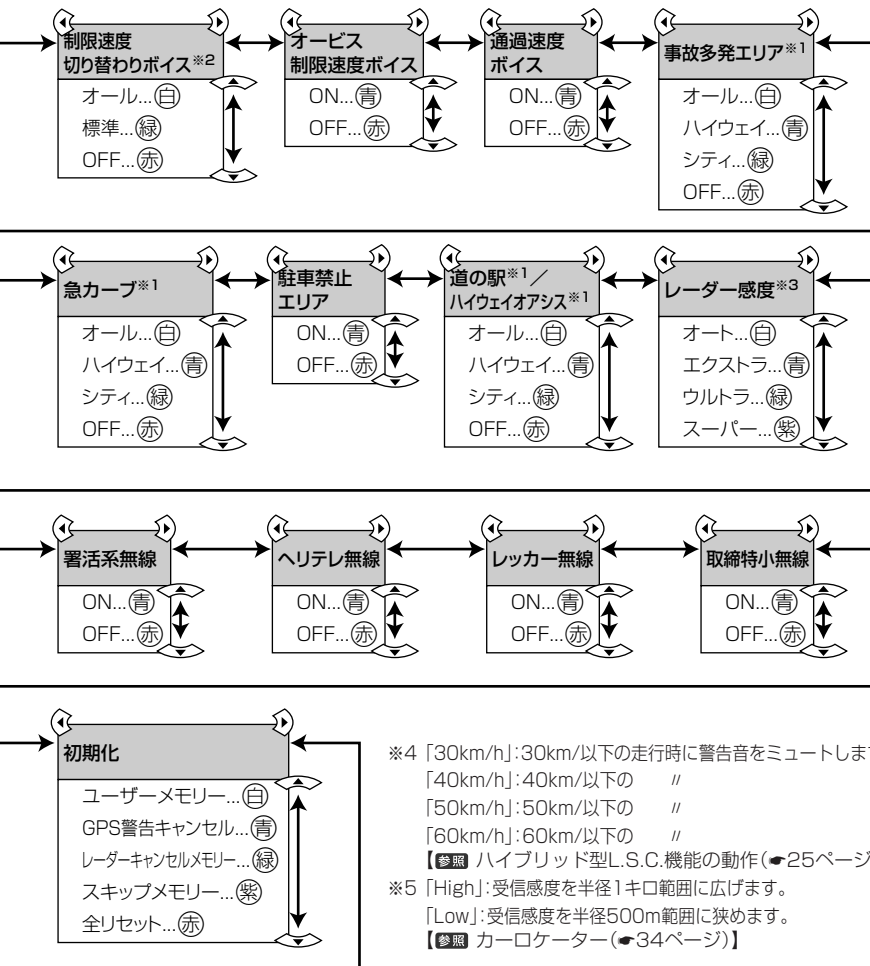
白色:白 / 青色:青 / 緑色:緑 / 紫色:紫 / 赤色:赤

「キャンセル/メモリー/クリアボタン」を押すことで通常動作に戻ります。

※1 「オール」: 高速道/一般道に対しての警告動作です。
 「ハイウェイ」: 高速道に対しての警告動作です。
 「シティ」: 一般道に対しての警告動作です。
 【参照】 道路識別機能(●31ページ)

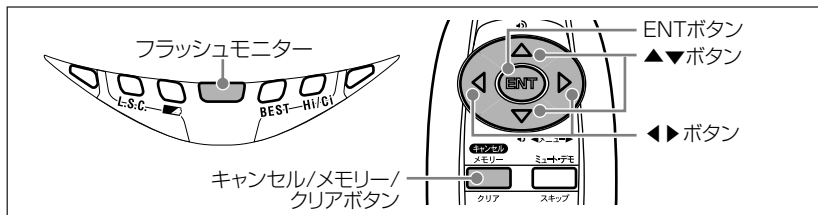
※2 「オール」: 制限速度の上がるポイントと下がるポイントで警告動作をおこないます。
 「標準」: 制限速度の下がるポイントでのみ警告動作をおこないます。
 【参照】 制限速度切り替わりポイント(●34ページ)

※3 「オート」: お車の走行速度に合わせてレーダー波の受信感度が自動的に変化します。
 「エクストラ」: 受信感度を「高」に固定します。
 「ウルトラ」: 受信感度を「中」に固定します。
 「スーパー」: 受信感度を「低」に固定します。
 【参照】 レーダー波受信感度オートの動作(●25ページ)



マニュアルモードでの設定変更方法

リモコンのボタンを押して、マニュアルモードであらかじめ設定されている内容をお好みで変更することができます。



ここでは「取締りポイント」の設定を変更する手順を例に説明します。他の機能の設定変更については前ページの「設定メニューのフローチャート」を参照してください。

1 「▶ボタン」を押して、設定メニューから「取締りポイント」を選びます。

「♪ブピッ、取締りポイント」とアナウンスし、現在の取締りポイントの設定状態を「フラッシュモニター」とボイスガイドでお知らせします。

2 「▼ボタン」または「▲ボタン」を押して、設定内容を切り替えます。

[取締りポイント警告]	[ボイスガイド]	[フラッシュモニター]
オール	オール	白色点灯
ハイウェイ	ハイウェイ	青色点灯
シティ	シティ	緑色点灯
OFF	解除	赤色点灯

※ 約15秒間なにも操作をおこなわないと、設定の変更がキャンセルされ通常の動作へ戻ります。

※ 設定を途中で終了する場合は「キャンセル/メモリー/クリアボタン」を押します。

3 「ENTボタン」を押して、設定を確定します。

4 引き続き他の機能の設定を変更する場合は、「▶ボタン」または「◀ボタン」を押して、機能を選びます。

設定を終了する場合は「キャンセル/メモリー/クリアボタン」を押します。

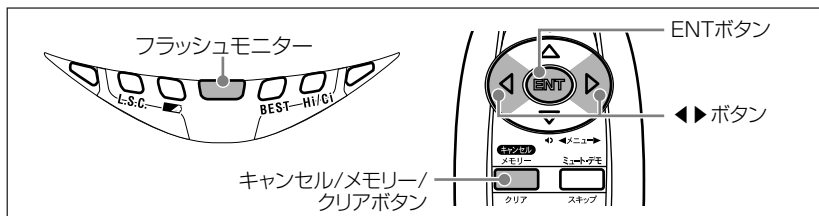
また何もボタンを押さなければ、15秒後に自動的に通常動作に戻ります。

ユーザーメモリー機能

新規にお知らせしたいポイントを最大100箇所記録して、約1キロ手前から3回警告をおこないます。この機能を使用することで、新設された取締機の位置の記録や注意したい地点の記録をおこない、方向識別をしてGPS 警告を出すことができます。

※ 記録するには約1キロ以上走行している必要があります。

※ 100箇所を越えると、100箇所目のポイントに上書きします。



○ユーザーポイントの記録

記録したいポイントの場所で操作をおこないます。

1 「キャンセル/メモリー/クリアボタン」を約1秒間押し続けます。

2 「♪ピンボン」と鳴り、記録を始めます。

[結果] ポイント記録成功	[ボイスガイド] ♪ピンボン、ユーザーポイント 記録しました。
ポイント記録失敗 (GPSが測位できない)	♪ピンボン、GPSを測位できません。
ポイント記録失敗 (走行データなし)	♪ピンボン、ユーザーポイント 記録できません。

※ GPS測位の状態によっては、結果が出るまで最大約20秒かかります。

○ユーザーポイントの個別消去

消去したいユーザーポイントの警告動作中に操作をおこないます。

1 「キャンセル/メモリー/クリアボタン」を約1秒間押し続けます。

操作結果をボイスガイドでお知らせします。

[ボイスアシスト例] ♪ピンボン、ユーザーポイント 消去しました。

○ユーザーポイントの全消去

※ ユーザーポイントの全消去はマニュアルモードでおこないます。

1 「▶ボタン」または「◀ボタン」を押して、設定メニューから「初期化」を選びます。
【参照】 マニュアルモードでの各種設定 (←38~40ページ)】

2 「フラッシュモニター」が白色に点灯し、「ユーザーポイント、ユーザーポイント…」と繰り返しアナウンスされます。

[ボイスガイド] ユーザーポイント、ユーザーポイント…	[フラッシュモニター] 白色点灯
--------------------------------	---------------------

※ 約15秒間なにも操作をおこなないと、全消去がキャンセルされ、通常の動作へ戻ります。

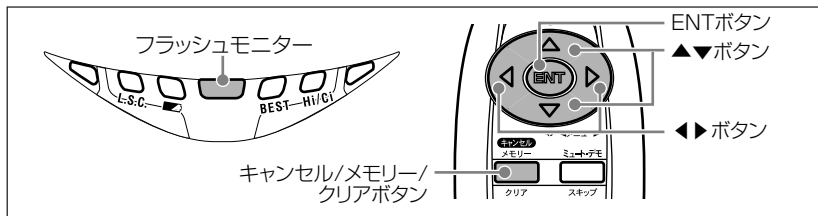
3 「ENTボタン」を約1秒間押し続けます。これでユーザーポイントが全て消去されました。

注意 ユーザーメモリーは一度消去するとデータを復元することはできません。消去操作は十分に注意しておこなってください。

GPS 警告ポイント消去機能

本製品に登録されている、速度取締機/取締りポイント/事故多発エリア/警察署/Nシステム/過積載監視システム/交通検問所/急カーブ/駐車禁止エリア/道の駅等のGPS警告を消去することができます。

この機能を使用することで、取締機の撤去などに対応することができます。



○GPS警告ポイントの消去

消去したいポイントの警告動作中に操作をおこないます。

1 「キャンセル/メモリー/クリアボタン」を約1秒間押し続けます。

操作結果をボイスガイドでお知らせします。

[ボイスアシスト例]

♪ピンポン、プリセットポイント 消しました。

※ GPS警告とレーダー警告が重複したときは、GPS警告ポイントが消去されます。

○GPS警告消去ポイントの全復帰

GPS警告ポイント消去機能で消去したポイントを全て復帰します。

※ GPS警告消去ポイントの全復帰はマニュアルモードでおこないます。

※ 個別での復帰はできません。一括での復帰となります。

1 「▶ボタン」または「◀ボタン」を押して、設定メニューから「初期化」を選びます。

【参照 マニュアルモードでの各種設定 (●38~40ページ)】

2 「▼ボタン」または「▲ボタン」を押して、「プリセットポイント」を選びます。

「フラッシュモニター」が青色に点灯し、「プリセットポイント、プリセットポイント…」と繰り返しアナウンスされます。

[ボイスガイド]

プリセットポイント、プリセットポイント…

[フラッシュモニター]
青色点灯

※ 約15秒間なにも操作をおこなないと、全復帰がキャンセルされ、通常の動作へ戻ります。

3 「ENTボタン」を約1秒間押し続けます。

これでGPS警告ポイントが全て復帰しました。

レーダーキャンセルメモリー機能

レーダー警告音が必要ないと思われるエリアの半径約200m圏内で、レーダー警告音をキャンセル(消去)します。

※ 最大で100箇所のポイントをキャンセルできます、



○レーダーキャンセルエリアの記録

消去したいエリアでのレーダー警告中に操作をおこないます。

1 「キャンセル/メモリー/クリアボタン」を約1秒間押し続けます。

2 「トピンボン」と鳴り、記録を始めます。
操作結果をボイスガイドでお知らせします。

[結果] エリア記録成功
[ボイスガイド] トピンボン、レーダーキャンセルエリア記録しました。

[結果] エリア記録失敗 (GPSが測位できない)
[ボイスガイド] トピンボン GPSを測位できません。

[結果] エリア記録失敗 (その他の理由)
[ボイスガイド] トピンボン、レーダーキャンセルエリア記録できません。

※ GPS測位の状態によっては、結果が出るまで最大約20秒かかります。

※ GPS警告とレーダー警告が重複したときは、GPS警告ポイントが消去されます。

○レーダーキャンセルエリアの確認

「ウォーニングランプ」でエリア内であるかどうかを確認できます。

「ウォーニングランプ」の表示

レーダーキャンセル エリア内に入ると...	レーダー波受信	「ウォーニングランプ」
	あり	3回点滅
	なし	2回点滅

○レーダーキャンセルエリアの個別消去

消去したいレーダーキャンセルエリアの半径約200m圏内で操作をおこないます。

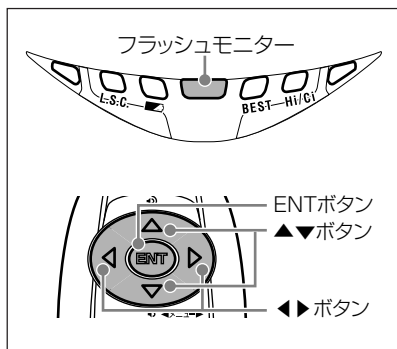
1 「キャンセル/メモリー/クリアボタン」を約1秒間押し続けます。
操作結果をボイスガイドでお知らせします。

[結果] エリア消去成功
[ボイスガイド] トピンボン、レーダーキャンセルエリア消去しました。

レーダーキャンセルメモリー機能

(次のページにつづく)

レーダーキャンセルメモリー機能 (つづき)



○レーダーキャンセルエリアの全消去

※レーダーキャンセルエリアの全消去はマニュアルモードでおこないます。


1 「▶ボタン」または「◀ボタン」を押して、設定メニューから「初期化」を選びます。

【参照 マニュアルモードでの各種設定 (←38～40ページ)】

2 「▼ボタン」または「▲ボタン」を押して、「レーダーキャンセルエリア」を選びます。「フラッシュモニター」が緑色に点灯し、「レーダーキャンセルエリア、レーダーキャンセルエリア…」と繰り返しアナウンスされます。

[ボイスガイド]

[フラッシュモニター]

レーダーキャンセルエリア、レーダーキャンセルエリア… 

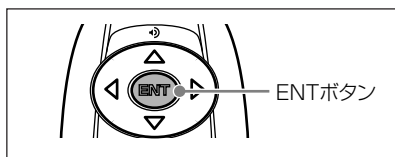
※約15秒間なにも操作をおこなないと、全消去がキャンセルされ、通常の動作へ戻ります。

3 「ENTボタン」を約1秒間押し続けます。これでレーダーキャンセルエリアが全て消去されました。

通過速度履歴確認機能

速度取締機を通過したときの通過速度をボイスガイドで確認することができます。

※確認できる通過速度は、最後に計測した通過速度1件のみとなります。



1 「ENTボタン」を押します。

2 ボイスガイドで前回の通過速度をお知らせします。

[ボイスガイド例]

東名高速 通過速度は90キロ以下です。

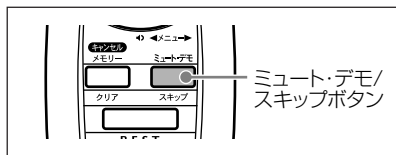
※通過速度ボイス機能がOFFの場合でも、通過速度のデータは保存されているので確認することができます。

【参照 マニュアルモードでの各種設定 (←38～40ページ)】

※本製品の電源が切れると通過速度履歴データは消去されます。

デモンストレーション機能

本製品の警告動作などをデモンストレーションします。



1 「ミュート・デモ/スキップボタン」を押します。

- ※ 本製品が警告動作をおこなっていない状態でボタンを押します。
- ※ LEDの表示もおこなわれます。
- ※ デモンストレーション中に、再度「ミュート・デモ/スキップボタン」を押すとデモンストレーションが終了します。



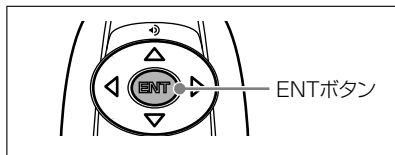
注意 デモンストレーションの内容は固定です。この機能では現在の設定状態は確認できません。



注意 デモンストレーション中は警告動作をおこないません。

1 キロ圏内サーチ機能

現在地から半径約1キロ圏内に速度取締機またはユーザーポイントがあるかどうかを検索します。



1 「ENTボタン」を約1秒間押し続けます。

2 サーチがはじまります。

[ボイスガイド]

♪ピロ、サーチします。

3 ボイスガイドで結果をお知らせします。

[結果]

設置あり

[ボイスガイド]

♪ピンポン、1キロ以内 東名高速 LHシステムに 注意してください。

設置なし

♪ピンポン、ポイントありません。

GPSが測位できない

♪ピンポン、GPSを測位できません。

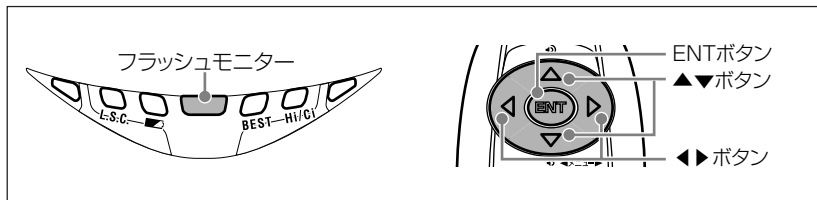
※ GPS測位の状態によっては、結果が出るまで最大約20秒かかります。

- ※ 距離のボイスアシストは1キロ以内、500m以内のどちらかでお知らせします。
- ※ 複数ポイントがある場合は、最も近いポイント1箇所についてお知らせします。

本製品の全リセット

この操作をおこなうと、各設定や記録内容は全て消去され、工場出荷時状態に戻ります。

【参照】BESTセレクト機能(●23ページ)



※本製品の全リセットはマニュアルモードでおこないます。

1 「▶ボタン」または「◀ボタン」を押して、設定メニューから「初期化」を選びます。

【参照】マニュアルモードでの各種設定(●38~40ページ)

2 「▼ボタン」または「▲ボタン」を押して、「オールリセット」を選びます。

「フラッシュモニター」が赤色に点灯し、「オールリセット、オールリセット…」と繰り返しアナウンスされます。

[ボイスガイド]

オールリセット、オールリセット…

[フラッシュモニター]

赤色点灯

※約15秒間なにも操作をおこなないと、全リセットがキャンセルされ、通常の動作へ戻ります。

3 「ENTボタン」を約1秒間押し続けます。これで全リセットが完了しました。

⚠ 注意 全リセットをおこなうと、各設定や記録内容を復帰させることはできません。リセット操作は十分に注意しておこなってください。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。

症 状	チェック内容	参照ページ	
電源が入らない	コードレスで使用している	内蔵バッテリーの残量はありますか。	20
		ムービングセンサーの感度は正しく設定されていますか。	25
	DC コードを使用している	DC12Vは入力されていますか。	19
電源が切れない	DC12Vが入力されていませんか？	25	
	ムービングセンサーの感度は正しく設定されていますか。	25	
充電されない	コードレスで使用している	ソーラーパネルに太陽光が適切に当たっていますか。	19
		DC コードを使用している	DC12Vは入力されていますか。
	機能の設定ができない	「マニュアルモード」に設定されていますか。	23～24
GPS 信号を受信しない	コードレスで使用している	GPS 信号は受信可能ですか。	12、22
		DC コードを使用して、充電しながら GPS 測位してください。	19
	内蔵バッテリーの残量はありますか。	20	
速度取締機の警告をしない	コードレスで使用している	GPS 信号は受信可能ですか。	12、22
		登録されていない速度取締機の可能性があります。	11、41、54
		GPS ポイントロード選択機能の設定は正しいですか。	38～40
		GPS 警告ポイント消去機能が設定されていませんか。	42

故障かな？と思ったら（つづき）

症 状	チェック内容	参照ページ
GPS 警告をしない (取締りポイント/Nシステム/事故多発エリア/警察署/過積載監視システム/交通検問所/制限速度切り替わりポイント/急カーブ/駐車禁止エリア/道の駅)	設定が「OFF」になっていませんか。	38～40
	登録されていないポイント(エリア)の可能性あります。	11、41、54
制限速度切り替わりポイントのGPS 警告をしない	制限速度切り替わりポイントの設定が「標準」で制限速度の上がる地点で警告しない設定になっていませんか。	38～40
何も無いのにレーダー警告音が鳴る	速度取締機と同じ電波を他の機器でも使用されています。その場合、レーダー警告を出す場合があります。これは故障ではありませんのであらかじめご了承ください。 <ul style="list-style-type: none"> －同じ電波を使用している機器例－ <ul style="list-style-type: none"> ・自動ドアの一部 ・車両通過計測器 ・NTTの通信回線の一部 ・気象用、航空機用などのレーダーの一部 －対処療法－ <ul style="list-style-type: none"> レーダーキャンセルメモリー機能 	43
ユーザーメモリー記録ポイントをお知らせしない	ポイントは記録されましたか。	41
	反対方向などから走行していませんか。	41
ハイブリッド型L.S.C.機能が働かない	ハイブリッド型L.S.C.機能は「ON」になっていますか。	25、38～40
	ムービングセンサーの設定は正しいですか。	25

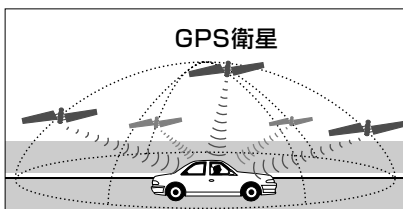
故障かな？と思ったら（つづき）

症 状	チェック内容	参照ページ
無線を受信しない (ヘリテレ無線／警察デジタル無線／カーロケーター／350.1MHz／レッカー無線／署活系無線／取締特小無線／警察電話)	受信設定が「OFF」になっていませんか。	38～40
	無線は常に発信されているわけではありません。	12、53
カーロケーターを受信しない	カーロケーターシステムを搭載していない車両の可能性あります。	12、53
350.1MHzを受信しない	デジタル通信の場合、音声を聞くことはできません。	12、53
	350.1MHzの受信電波が弱いと、音声が聞こえない場合があります。	12、53
レッカー無線を受信しない	DC12Vは入力されていますか。	19
	本製品搭載のレッカー無線チャンネルは、主に東京都、兵庫県、愛知県内の一部地域で使用されているものです。レッカー無線を搭載していない車両の可能性あります。	12、53
	走行速度が約50km/h以上で走行していませんか。	
署活系無線を受信しない	DC12Vは入力されていますか。	19
レッカー無線以外の業務無線を受信する	レッカー無線は簡易業務無線のため、その他業種の無線も受信します。	12、27～28、36、53
ヘリテレ無線、警察デジタル無線、レッカー無線、署活系無線、取締特小無線、警察電話などを受信したままになる	お車からの影響や、周囲の状況により受信したままになる場合があります。 －対処方法－ ・ワンスキップ ・タイムスキップ ・スキップメモリー	27 27 27～28

GPSとは…?

GPS(Global Positioning System)

GPSとは地球の衛星軌道にある24個のGPS専用の人工衛星からの信号を利用して位置情報を算出するシステムです。



本製品の動作

本製品は、GPS衛星からの信号を受信することで、登録されている速度取締機位置データ等をもとにお知らせするシステムと、レーダー探知機が1つになったモデルです。これにより従来のレーダー探知機では対応が難しかったLHシステム、ループコイルや光電管式のオービス等にも対応しました。また、今後予測される速度取締りにも対応できるよう監視カメラ(Nシステムなど)の位置データも登録しています。

速度取締機・4ステップGPS警告

例) 首都高速可変式ループコイルの場合



○制限速度切り替わりポイントについて

制限速度の切り替わる付近で、ボイスアシストにより制限速度の切り替わりをお知らせします。

○事故多発エリアについて

警察庁、国土交通省の統計データにもとづき、全国各地の一般道の事故発生率が高いエリアを事故多発エリアとして登録しています。

○取締りポイントについて

全国各地(高速道、一般道)での追尾式取締り、または移動式取締りや検問がおこなわれていた目撃情報をもとに取締りがおこなわれている可能性の高いエリアを取締りポイントとして登録しています。そのため、警告があっても取締りがおこなわれていないことや、取締りがおこなわれていても警告がない等もありますので、あらかじめご了承ください。

本製品の動作（つづき）

○警察署について

緊急トラブルなどにも安心と安全運転をサポートする為、全国各地の警察署(交通機動隊、交通警察隊など)を登録しています。新設や移転、廃止については対応できませんので、あらかじめご了承ください。

○交通検問所について

一般道では道路脇に設置されていますが、高速道では料金所脇の高速隊詰め所に併設される場合や、サービスエリアに設置されている場合もあります。道路から引き込み路があり、検問所が常設されています。

取締りは常時ではありませんが速度違反や飲酒検問、過積載などの取締りをおこなっています。その他にも交通規制時にも使用されています。

○過積載監視システムについて

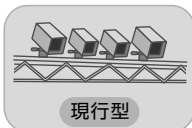
路面に設置された重量測定用の踏み板と、道路上方の監視カメラによって、トレーラーなどの大型車の重量オーバーを監視します。

○N-System(Nシステム)について

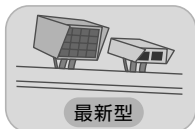
「盗難車両の発見・自動車を使用した重要事件における犯人検挙のために利用」する自動ナンバー読み取り装置。強力赤外線ストロボと高解像度デジタルカメラで車両ナンバーを撮影、その映像をコンピュータで処理し、警察の中央コンピュータに伝送。その伝送されたデータとホストコンピュータのデータとを照合させ、手配中の車両かどうかを確認するシステムです。



旧型



現行型



最新型

○新型取締機

本製品では交差点監視システムの設置箇所を登録しています。

○急カーブについて

全国的高速道路などの急カーブや連続カーブを、独自の調査により登録しています。

○駐車禁止エリアについて

全国の政令指定都市を中心に、独自の調査により駐車違反重点取締地区を想定し、駐車禁止エリアとして登録しています。

○道の駅について

全国の一般道に併設されている道の駅を登録しています。

○ハイウェイオアシスについて

全国的高速道路に併設されているハイウェイオアシスを登録しています。

速度取締りに関する予備知識

取締方法 1

レーダー波(マイクロ波)を使用する方式

レーダーにはレーダー波(マイクロ波)と呼ばれる周波数の高い電波が使用されます。この電波を車両へ発射し、反射した際に変化する*周波数から走行速度を測定します。

※この現象を「ドップラー効果」と呼びます。

① 固定式

- ・ レーダー式オービス

- ・ 新Hシステム

このシステムでは事前に「速度超過」などが速度警告板に表示されます。それを無視した違反車両をデジタルカメラで撮影します。

② 移動式

- ・ 車載型

ワンボックス車等に速度取締機を積載し、路肩などに駐車して取締りをおこないます。

※ 赤外線式、光電管式により取締りをおこなう場合もあります。

- ・ レーダー型

レーダー波(マイクロ波)を走行車両に当て、走行速度を計測し、その車両が速度違反の場合には、車両を停止させ検挙します。

- ・ ステルス型

発信するレーダー波の放射時間が短いため、従来型レーダー探知機では瞬間的に「ピッ」としか鳴りません。本製品では専用のアラームでお知らせします。

取締方法 2

パトカー等による追尾方式

パトカー等に、スピードメーターの指針を固定できる取締用スピードメーターを搭載し、対象の車を追走して速度を測定する方式です。

取締方法 3

次世代取締機NHシステム

通行車両をデジタルカメラで撮影し、その写真画像のブレ等から走行速度を算出することで速度違反車両を特定します。

取締方法 4

ループコイル式デジタル取締機LHシステム

車両が複数あるループコイルを通過するのにかけた時間から走行速度を計測し、違反車両をデジタルカメラで撮影する方式です。

取締方法 5

計測センサーを使用する方式

ループコイル式、光電管式、赤外線式などのセンサーを用いて、車が一定区間を通過する時間を測定し、その車の走行速度を算出します。

※ 有人取締りで、計測センサーを使用している場合レーダー波を使用せず、また取締りポイントも固定されていないため、事前にお知らせすることができません。

無線に関する予備知識

○350.1MHzについて

速度取締り現場などで、測定係と停止係の間で使用されている無線です。

※ 350.1MHz無線の受信は、電波の状態等によって受信状態が変わります。

※ 350.1MHz無線の受信で、デジタル通信の場合は、音声を聞くことはできません。

※ 350.1MHz無線は常に取締りに使用されているわけではありません。本製品での受信は、無線が使用され、電波が出ている場合に限りです。

○カーロケータースystemについて

警察関係車両などに搭載され、GPS信号により算出された自車位置情報をセンターなどに送信するシステムです。

※ デジタル通信のため、音声を聞くことはできません。

※ 一部地域では、カーロケータースystemが配備されていないまたは、システムが異なるために受信することができない場合もあります。

※ 緊急車両に追尾されていても、カーロケータースystemを受信しない場合があります。カーロケータースystemは全ての緊急車両に搭載されているわけではなく、また搭載されていても常時電波を発信しているわけではありません。このような場合には緊急車両の接近をお知らせすることができません。

○警察デジタル無線について

主に警察関係車両で本部との連絡用に使用される無線です。

※ デジタル通信のため、音声を聞くことはできません。

※ 警察デジタル無線は常に使用されているわけではありません。本製品での受信は無線が使用され、電波が出ている場合に限りです。

○署活系無線について

● 警察署の管轄区域単位で使用する携帯無線で、警察署と警察官または警察官同士の通信手段として使用されている無線です。

● ※ デジタル通信のため、音声を聞くことはできません。

○取締特小無線について

● 路上での取締り現場などで使用されている無線です。

○警察電話について

● 警察関連の自動車電話などで使用されています。

○ヘリテレ無線について

● 事件や事故、または、ヘリコプターを使った取締りなどの際に、ヘリコプターと地上間で使用されている無線です。

● ※ 一部地域や一部のヘリコプターではヘリテレ無線が導入されていないなどの理由により受信できない場合があります。

○レッカー無線について

● 駐車違反や事故処理などで主に東京都内、兵庫県内、愛知県内の一部地域でレッカー業者が使用する無線です。

● ※ レッカー無線は簡易業務用無線のため、その他業種の無線も受信します。あらかじめご了承ください。

○バリケードアラームについて

● 検問等がおこなわれている可能性が高いと判断した場合に、専用のバリケードアラームでお知らせします。

保証書について

●保証書(別途添付)

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容をよくお読みのと、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から1年間です。

修理を依頼される時

「故障かなと思ったら」の点検をしていただいても、なお異常のあるときは故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

●保証期間中のとき(保証書に販売店名、日付印がないと無効になります)

恐れ入りますが、お買い上げの販売店まで、保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定に従って修理いたします。

●保証期間が過ぎているとき

お買い上げの販売店に、まずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

個人情報に関して

本製品に対するお問い合わせ、修理などを依頼される場合の個人情報の利用目的について

1. 当社製品・サービス等に関するお問い合わせ、ご相談、修理などに対応するため。
2. 製品の企画、開発、販売促進、営業活動に、お客様のご要望を反映させるため、および満足度向上などの検討に必要な参考資料とするため。

当社でのお客様の個人情報取扱いについては当社ホームページでご確認頂けます。

<http://www.cellstar.co.jp/>

データ更新について

- 本製品は速度取締機、取締りポイントなどの位置データを使用して製造をおこなっています。その後、速度取締機などの新設や変更などがあった場合、その内容を反映させたデータを1年に2回を目安として更新用データを作成しております。
- データの更新を希望される場合は、お買い求めになった販売店、当社カスタマーサービスまでご依頼ください。また、データ更新作業の際に工場出荷状態に戻ってしまう場合がありますので、あらかじめご了承ください。

【データ更新を依頼される場合】

データ更新作業をおこなう間、本体をお預かりいたします。
また、更新料 ¥5,250(税込)と、送料が別途必要です。

リモコンの紛失について

- 万ーリモコンを紛失された場合は、お買い求めになった販売店、または当社カスタマーサービスまでご依頼ください。

新設速度取締機、Nシステム、取締りポイントの情報提供のお願い

本製品でお知らせできない新設された速度取締機、Nシステムの情報や高速道、一般道に関わらず有人取締りが頻繁におこなわれるエリア、追尾取締りや検問などの目撃情報がございましたら、当社カスタマーサービスまたは、e-メール等でお知らせ頂けますようお願いいたします。

カスタマーサービス ☎ 0120-75-6867
(携帯電話・PHSよりおかけの方は、TEL.046-275-6867)

e-メール : ranavi@cellstar.co.jp / ホームページ : www.cellstar.co.jp

※ 携帯電話等からe-メールでの情報提供をして頂き、返信メールをご希望される場合には、パソコンからのメールを受信できる状態、または、cellstar.co.jpをドメイン指定してください。詳しい設定方法については、お使いの携帯電話会社へお問い合わせください。

各地域のお客様相談窓口一覧

- | | |
|-----------------------------------|--|
| ■北海道地区
北海道セルスター工業株式会社 | TEL.011-882-1225(代) FAX.011-881-7251
〒004-0843 札幌市清田区清田三条1-3-1 |
| ■東北地区
セルスター工業(株) 仙台営業所 | TEL.022-218-1100(代) FAX.022-218-1110
〒981-3117 宮城県仙台市泉区市名坂字原田158 |
| ■関東地区
セルスター工業(株) 関東営業所 | TEL.046-273-1100(代) FAX.046-273-1106
〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-32 |
| ■中部・北陸地区
中部セルスター工業株式会社 | TEL.052-798-6325(代) FAX.052-798-6315
〒463-0021 愛知県名古屋守山区大森4-1002 |
| ■関西・中国・四国地区
関西セルスター工業株式会社 | TEL.0727-22-1880(代) FAX.0727-22-5575
〒562-0004 大阪府箕面市牧落3-8-7 |
| ■九州地区
九州セルスター工業株式会社 | TEL.092-552-5252(代) FAX.092-552-5300
〒811-1347 福岡県福岡市南区野多目1-11-8 |
| ■セルスター工業株式会社
カスタマーサービス フリーダイヤル | 0120-75-6867 TEL.046-275-6867
〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-32 |

● 名称、所在地、電話番号は変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

仕様・定格

GPS受信部

受信方式：16chパラレル受信
受信周波数：1575.42MHz

レーダー受信部

受信方式：ダブルスーパーヘテロダイン方式
受信周波数：Xバンド、Kバンド

レシーバー部

受信方式：ダブルスーパーヘテロダイン方式
受信周波数：UHF 330～470MHz帯
VHF 154～160MHz帯

本体

電源電圧：内蔵バッテリー/DC3.6V、DCコード/DC12V
動作温度範囲：-10℃～+65℃
本体サイズ：72(W)×105(D)×36(H)mm(突起物含まず)

リモコン

使用電池：リチウム電池/CR2032×2
動作温度範囲：-10℃～+65℃
本体サイズ：35.5(W)×18(D)×70(H)mm(突起物含まず)

※改良等の為、本製品の仕様・定格などを変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

オプション品 ※別途お買い求めください。

- RO-100 ACアダプター
- RO-101 電源スイッチ付DCコード(ストレートタイプ)
- RO-102 電源スイッチ付DCコード(カールタイプ)

全国自動車用品工業会会員 <http://www.cellstar.co.jp>

CELLSTAR® セルスター工業株式会社

〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-32 TEL.046-273-1100 (代) FAX.046-273-1106

PP-D263MN-A 2006.1